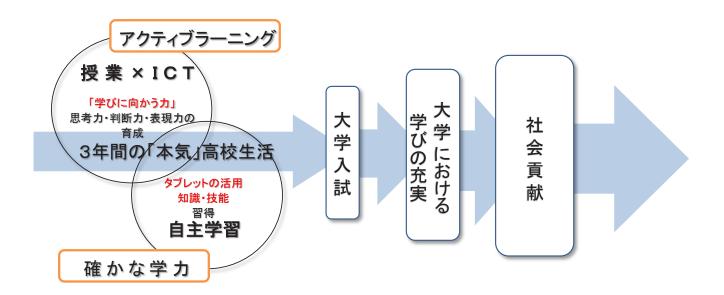
# 令和2年度科目履修案内 第3学年 目次

	宮北高校「本領 戈30年度入 <sup>会</sup>	āの学習」 学生教育課程表(普通科	斗•理数	(科)			頁 1 2
< 2	S教科より>			ı —ス •	科		
1	国語科	現代文B	A	. ,			6
		古典B	Α				7
		国語探究	A 1		В	理数	8
2	地歴科	日本史B	Α				1 1
		世界史B	Α				1 2
		日本史B			В	理数	1 3
		地理B		A 2	В	理数	1 5
		日本史特講	A 1				1 6
		世界史特講		A 2			1 7
3	公民科	政治経済	Α				1 9
		倫理	Α				2 0
4	数学科	数学特講	A 1				2 3
		数学探究	Α	A 2			2 4
		数学Ⅲ			В		2 5
		数学Ⅱ			В		2 6
		数学探究			В		2 7
		理数数学Ⅱ				理数	28
5	理科	生物			В		3 0
		SS理数生物				理数	3 2
		化学探究		A 2			3 4
		化学			В		3 6
		SS化学			В		3 7
		物理			В		38
		SS物理				理数	3 9
		地学探究					4 1
6	保健体育	体育	Α		В	理数	4 4
		スポーツⅡ	Α				4 7
7	芸 術	音楽Ⅲ	Α				4 9
		クラフトデザイン	Α				5 1
8	英語科	コミュニケーション英語Ⅲ	Α		В	理数	5 4
		英語表現 Ⅱ	Α		В	理数	5 5
		英語探究	A 1		В		5 6
9	家庭科	フードデザイン	A 1				5 7
10	数理探究	数理探究Ⅲ				理数	5 8

# 大宮北高校「本気の学習」

教育改革の先進校で学ぶ喜び



北高生は自らが自己の高校生活に「本気」で取り組み成長します。 どんな「本気」に取り組み、自分の高校生活を豊かにしますか? 多彩な学校生活には「本気の部活動」「本気の学校行事」もあります。 「本気の学習」を大切にし、「本気の部活動」「本気の学校行事」を生かしましょう。 大宮北高校は皆さんの「本気」を応援します。

### 授業

大宮北高校の授業は「学問の魅力」を伝えます。

大学入試に対する表面的なノウハウだけを伝えるものではありません。

自ら積極的に発信し、学ぶことの楽しさを感じてください。

授業を中心とした予習・復習のサイクルを確立することで「学びに向かう力」が育ちます。

希望の大学に進学できる、大学入学後にも生きる「力」がつきます。

ICTを活用した「アクティブラーニング」→「思考力」「判断力」「表現力」の育成 「脱、教え込み授業」→「発信力」を育て、「学びに向かう力」「人間性」を滋養します。

### 自主学習

大宮北高校では自ら学び、学問を深める力を必要と考えています。

社会に貢献できる人材となるために、自らの「志」に向かった努力が必要です。

通学時間や部活動等によって時間の使い方は変わります。

個人タブレットをどのように活用するか。受信データをどう活用するかは個人に任されます。

3年間を見据えた学習計画、各学年における学習計画をもとに、

個々の日々の学習計画を構築していきましょう。

苦手科目も克服していけるようにバランス良く時間を確保することが大切となります。

計画は担任の先生等との面談を通して確認していきましょう。

理数科・普通科併置による充実した学習システム→互いの「知的好奇心」を刺激・成長 海外交流事業、海外修学旅行等→国際社会に通用する視野を持つグローバル人材の育成

令和2年度 教育課程表(普通科) (平成30年度入学生用)

	7和2千度 教育味信				1,247.14	2 年			3 年		
各教科	·科	目等	標準単位	1 年	A	В	SSC	A 1	A 2	В	計
教	科	科目	平压		Α	Б	330	A 1	A Z	Б	
	玉	国 語 総 合	4	5							
		現代文B	4		2	2	2	3	3		13~19
		古 典 B	4		3	3	3	3	3		10.13
	語	(学)国語探究	4					3		3	
		世界史A	2			2	2				
	地	世界史B	4		3			5	5		
	理	日 本 史 B	4		3			<b>●</b> 5	5	<b>●</b> 4	$6 \sim 1.5$
	歴	地 理 B	4						O 4	<b>●</b> 4	0 1 0
	史	(学)世界史特講						$\triangle$ 2			
		(学)日本史特講						△ 2			
	公	現代社会	2	2							]
	民	倫 理	2					$\triangle$ 2	○ 2		$2\sim6$
	7	政治・経済	2					2	○ 2		
		数 学 I	3	3							
各	数	数 学 Ⅱ	4		4	5	5			○ 3	_
学	学科     数字       A     数字       A     数字       B     数字		5							O 7	
科			2	2							$9 \sim 19$
			2		<b>•</b> 2	2	2				
共	•	数学探究1301	2~4						5	O 4	_
通		(学)数学特講						△ 2			
す		物 理 基 礎	2	2					·		
る		物理	4							<b>▲</b> 7	]
<i>p</i>	邛	化 学 基 礎	2	2							]
各	理	化学	4			4	4			3	$7\sim2.0$
±4+			4								1 - 2 0
教		生 物 基 礎	2		3	2	2				]
科	科	生 物	4							<b>A</b> 7	]
14	111	地学基礎	2		☆ 2						
		(学) 化学探究							△ 3		
		(学) 地学探究							△ 3		1
科	保健	体育	7~8	3	3	3	3	2	2	2	1.0
	体育		2	1	1	1	1				1 0
目		音 楽 I	2	☆ 2							
	芸	音 楽 Ⅱ	2		<b>☆</b> 2	☆ 2					1
	_	音 楽 Ⅲ	2					☆ 2			1
		美術 I	2	☆ 2							$2\sim6$
		美術Ⅱ	2		<b>☆</b> 2	☆ 2					1
	術	書 道 I	2	☆ 2							1
		書 道 Ⅱ	2		☆ 2	☆ 2					1
		コミュニケーション英語 Ι	3	4							
	外	コミュニケーション英語Ⅱ	4	_	4	4	4				1
	71	コミュニケーション英語Ⅲ	4		-	-		4	4	4	1
	玉	英語表現I	2	2						_	$1.8 \sim 2.4$
		英語表現Ⅱ	4	_	2	2	2	3	3	2	1
	語	(学) 英語特講			_	_		△ 2		_	1
		(学) 英語探究						3			1
	家	家庭基礎	2	2				, i			2
<u> </u>	庭	<b>小</b> 座	۷	۷							۷
て主開と	家庭	フードデザイン	2~6					<b>☆</b> 2			
設し	英	英語理解	4		<b>•</b> 2						1
さて れ専	語美				<del>-</del> 2						1
目る門 各学	術	クラフトテ゛サ゛イン	2~10					☆ 2			$0 \sim 4$
教科	書	実用の書2707	2~4					☆ 2			]
科に ・お	道 体										1
科い	育	スポーツⅡ	2					☆ 2			
学校設定	科目等	数 理 探 究	2~4	2			2				$2 \sim 4$
		小計		32	32	32	32	32	32	32	96
特別》	舌動	ホームルーム活動	_	1	1	1	1	1	1	1	3
松公	<u></u> 会Ы+	は学習の時間	授業時数	1	1	1	1	1	1	1	授業時数:105
形心	ц н 1/ <sub>с</sub>		(単位数)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	単位数:(3)
	合			34	34	34	34	34	34	34	102
	(週当	たりの授業時数)		34	04	04	34	34	34	34	102
備			考	2年 ☆、●F 3年(A1); (A2) ●	○印の選択は(7 (~	1 科目選択 らそれぞれ 1 和 れぞれ 1 科目 ア) 地理 B を選打 イ) 政治・経済、	科目選択。 選択、○印から 尺。 倫理を選択。	) 1または2科[			・卒業までに履修させる各教科・科目及び総合的な学習の時間の単位数の計99単位
(B) ●、▲印からそれぞれ1科目選択、○印から1または3科目選択。 ○印の選択は(ア)数学Ⅲを選択。 (イ)数学Ⅱ、数学探究を選択。									目選択。		・卒業までに修得させる各教科・科目及び総合的な学習の時間の単位数の計99単位

令和2年度 教育課程表(理数科) (平成30年度入学生用)

			標準				
各教科			単位	1 年	2 年	3 年	計
教	科	科目					
	玉	国 語 総 合	4	5			
		現代文B	4		2		12
	<i>⇒</i>	古 典 B	4		3		12
	語	(学)国語探究				2	
		世界史A	2		2		
	地	日 本 史 B	4			<b>A</b> 1	
Ħ	理歴	日本史B	4			<b>♦</b> 4	6
谷	史	地 理 A	2				
各 学 科	^	地 理 B	4			<b>♦</b> 4	
に		現代社会	2	2			
に共通す	公	倫理	2				2
通	民	政治・経済	2				
	保健		7~8	2	3	2	
る	体育		2	1	1		9
各	IT FI	音楽I	2	☆ 2	1		
17		音楽Ⅱ	2	N L			
教							
~,	芸		2	.^ 0			
科		美 術 I	2	☆ 2			
		美術Ⅱ	2				2
•	術	美 術 Ⅲ	2				
科	NIJ	書 道 I	2	☆ 2			
17		書 道 Ⅱ	2				
目		書 道 Ⅲ	2				
, .	外	コミュニケーション英 語 I	3	3			
		コミュニケーション英 語 Ⅱ	4		4		
	玉	コミュニケーション英 語 Ⅲ	4			4	17
	<b>⇒</b>	英 語 表 現 [	2	2			
	語	英 語 表 現 Ⅱ	4		2	2	
	家	家 庭 基 礎	2	2			9
	庭						2
聖主	-	SS理数数学I	5~7	5			
開 設っ	S	SS 理数数学Ⅱ			7	3	
って れ <sub>恵</sub>	S	SS理数数学特論				4	
される各教科・して専門学科にな	5	SS 理 数 生 物	6~8	2	2	<b>■</b> 5	41
教科科	理	SS理数化学	6~8	2	2	<b>5</b>	
・お		SS理数物理	6~8	2	2	<b>1</b> 5	
・おいて	数	~~ ~ % W E	3 0		<u> </u>	<b>-</b> ~	
,		 小計		30	30	31	91
特別活	活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
			授業時数		1	1	授業時数:105
総合的な学習の時間		(単位数)	(1)	(1)	(1)	103 単位数:(3)	
学校設定		(単位数)			(1)	平位数 . (3)	
科目等数理探究		5	2	2	1	5	
合計 (週当たりの授業時数)				34	34	34	102
		!コにリツ汉未时級/					ナルエール見たくいったが
ſ	前		考	1 年 み印かさ	それぞれ1科目遺	整 <sup>4</sup> 户	・卒業までに履修させる各教 科・科目及び総合的な学習の時
						間の単位数の計99単位	
					らそれぞれ1科目	1 迭	・卒業までに修得させる各教
				「数理探究」			・   辛業までに修得させる各教   科・科目及び総合的な学習の時
				・1年次「情報の	の科学」(2単位	立)の代替	間の単位数の計99単位

### 1 国語科

高等学校卒業後の進路を見据え、受験に対応した学力を伸ばすだけではなく、社会人としての教養を身につけるために、どのように学習を進めたらよいか、科目ごとに説明します。

(1) 現代文B (2) 古典B·古文編 (3) 古典B·漢文編 (4) 国語探究 各科目は次のポイントで確認しましょう。 ① 予習 ② 授業 ③ 復習 ④ その他

### (1) 現代文B

#### ① 予習

- ・評論・小説などのジャンル別の読解に留意しながら教科書を一読し、傍線や記号などをつけておく。
- ・ノートに語句の意味調べ(『現代文重要語』も参照せよ。)等を書き、適宜漢字練習を行う。
- ・余裕があれば、意味段落ごとに内容を要約しておく。

#### 2 授業

### ※教科書・ノートの他、『国語辞典』『現代文重要語』『国語便覧』を必ず用意しておく。

- ・復習の時に見やすいノートを心がけながら、板書を書き写す。
- ・板書に気を取られて肝心な説明を聞き逃すことのないよう注意する。
- ・疑問点や先生が口頭で説明したもの等の補足事項をノートに書き足す。

#### ③ 復習

- ・授業中の疑問点は、辞典を引くなど自力で調べたり、先生に質問をしたりして早目に解消する。
- ・1つの単元が終わったらノート全体を見直し、指示が無くても、本文の要約・あらすじのまとめを行う。
- ・問題プリント等が配付されたら自力で解き、自己採点後、再度解き直しをする。

### ④ その他

- ・2年生同様、漢字の小テストを随時行う。範囲は「年間学習計画表」を参照。
- ・2年生同様、『現代文重要語』から、定期考査に10点分出題。範囲は「年間学習計画表」を参照。
- ・入試の過去問題、共通テスト対策(センター過去問・A2コースのみ)などにも取り組む。
- ・試験後は結果を自己分析し、反省を次回に生かせるよう、解き直しをする。

### (2) 古典B・古文編 [基本的には2年生と同様]

### ① 予習

- ・教科書本文を音読する。
- ・プリント等が配付されない場合は、ノートを使って予習する。

[上頁に教科書の本文を**黒ペン**などで $3\sim4$ 行ずつ空けて書き写す、下頁は脚注頁として使用する。]

・単語の意味、文法事項(品詞・活用形・意味用法)などを調べ、できるだけ口語訳をしておく。

### ※ここまでを予習でやっておかないと授業にはついて行けません!

#### ② 授業

### ※教科書・ノートの他、『古語辞典』『古文単語』『古典文法』『国語便覧』を必ず用意しておく。

- ・復習の時に見やすいノートを心がけながら、文法事項や口語訳を本文にあわせて書き足していく。
- ・疑問点や先生が口頭で説明したもの等の補足事項をノートに書き足す。
- ・板書に気を取られて肝心な説明を聞き逃すことのないよう注意する。

### ③ 復習

- ・授業中の疑問点は、辞典を引くなど自力で調べたり、先生に質問をしたりして早目に解消する。
- ・毎授業後に、本文と口語訳を音読してみる。口語訳などが抜けている箇所はないか確認する。
- ・文法事項は、『古典文法』等を使って、文学史事項は『国語便覧』を使って再確認する。
- ・1つの単元が終わったらノート全体を見直す。口語訳を読み、本文の要約・あらすじのまとめを行う。

#### 4) その他

- ・古文単語や文法の小テストを随時行う。2年生までの知識の確認として範囲は特にない。
- ・入試の過去問題、共通テスト対策(センター過去問・A2コースのみ)などにも取り組む。
- ・試験後は結果を自己分析し、反省を次回に生かせるよう、解き直しをする。

### (3) 古典B・漢文編 [基本的には2年生と同様]

#### ① 予習

- ・教科書に文の通し番号をつけ、訓点に従って本文を音読する。
- ・プリント等が配付されない場合は、ノートを使って予習する。 [上頁に教科書の本文を黒ペンなどで3~4行ずつ空けて書き写し(訓点も必ず記入する)、書き下し文も書いておく。]
- ・教科書脚注や『漢文必携』などで句形や重要語を調べ、下頁に書いておく。

### ※ここまでを予習でやっておかないと授業にはついて行けません!

### 2 授業

#### ※教科書・ノートの他、『漢文必携』『国語便覧』を必ず用意しておく。

- ・復習の時に見やすいノートを心がけながら、句形や重要語・口語訳を本文にあわせて書き足していく。
- ・疑問点や先生が口頭で説明したもの等の補足事項をノートに書き足す。
- ・板書に気を取られて肝心な説明を聞き逃すことのないよう注意する。

#### ③ 復習

- ・授業中の疑問点は、自力で調べたり、先生に質問をしたりして早目に解消する。
- 毎授業後に、必ず本文を音読する。口語訳も音読し、抜けている箇所はないか確認する。
- ・句形や重要語は、『漢文必携』等を使って、文学史事項は『国語便覧』を使って再確認する。
- ・重要句形が含まれる文は、改めて白文・書き下し文・口語訳を何度も書き、暗記する。白文に訓点をつける 練習もする。
- ・1つの単元が終わったらノート全体を見直す。口語訳を読み、本文の要約・あらすじのまとめを行う。

#### 4 その他

- ・『漢文必携』より、句形・重要語彙の小テストを随時行う。範囲は「年間学習計画表」を参照。
- ・入試の過去問題、センター試験過去問題 (A2コースのみ) などにも取り組む。
- ・試験後は結果を自己分析し、反省を次回に生かせるよう、解き直しをする。

### ※漢文は頻出のものをしっかり覚えるだけで、共通テストでの得点源になります。要復習!

### (4) 国語探究[1・2年の総復習と共通テスト対策の問題演習を行う授業]

### 〈1学期〉

- (1)現代文 教科書本文を用いた問題演習を行う。
- ②古典 副教材『プログレス古典総演習・標準編』を使って問題演習を行いながら、1・2年の総 復習を行う。

#### 〈2学期以降〉副教材『センター試験国語過去問題』などを使用

#### ① 予習

- ・第1問から順番に「現代文・評論 → 現代文・小説 → 古文 → 漢文 ]、1問を授業1時間で扱う予定。
- ・予定された教材の問題を解いておく。

#### ② 授業

#### ※問題集の他、各ジャンルに必要な辞書・副教材を必ず用意しておく。

・問題文の読解を深めて、設問の解き方と解答を確認する。

### ③ 復習

・次の授業までに前回の問題を再び解いてみる。できなかった問題は、配付された解説・解答を読み、もう 一度解く。

科	目名等	単位数		<b>丰名</b>	副教材等					
現	l代文B	3	精選現代文B 新訂版	[大修館書店]	『頻出現代文重要語700』『国語便覧』 『パーフェクトクリア』					
【到	達目標】	感じ方、	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、 感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態 度を育成する。							
【学習.	上の留意	点】・意味調	・様々な文章を読むことにより、語彙を増やすことができたか。 ・意味調べなどの予習に積極的に取り組み、主体的・継続的に学習する姿勢が身に付い ・自己の基礎的能力の定着を図り、実践的な能力の向上に努められたか。							
月	テスト	進	度(単元)	É	<b>目己チェック項目</b>					
4月	1学期	評論 (二) 「新 小説 (二) 「和	実体の美と状況の美」 寧檬」	張や内容をとらえる。F	目互の関係を読み取りながら、筆者の主 日本人の美意識について考える。 い情の推移を的確に把握する。					
~	中間			・物語の展開を理解し、	小説のおもしろさを味わう。					
5月			170~P. 193 134~P. 145	□語彙を深めることがて □各回合格ラインに達し						
6月	1 学期 期末	小説(三)「ź			と読み、時代や人間のあり方について理					
		『重要語』 P	194~P. 219	 □語彙を深めることがて	<b>ジェ</b> ナカ					
7月			$\frac{134 \cdot 1.213}{146 \sim P. \ 156}$	□各回合格ラインに達し	*					
9月 ~ 10月	2学期中間		政治を支える心構え」 描は後悔するか」	張や内容をとらえる。 ・将来の社会を担う人間 ・文章の構成や、段落相 張や内容をとらえる。	国互の関係を読み取りながら、筆者の主間としての自覚を持つ。 国互の関係を読み取りながら、筆者の主解き、抽象度の高い論理を理解する。					
		『重要語』P.	222~P. 245	□語彙を深めることがて	<b>ごきたか。</b>					
11月	2 学期 期末	入試過去問題沒	生物多様性の恩恵」 寅習 過去問題演習(A2コ	解し、現代社会における	ている恩恵と人間の技術との関わりを理 5問題について自分自身の考えを持つ。 私立大学入試などの過去問題や、模擬					
12月		『重要語』P.	246~P. 281	□語彙を深めることがて						
1月	3学期	入試過去問題? センター試験? ースのみ)	寅習 過去問題演習(A2コ	・国公立大学二次試験、私立大学入試などの過去問題や、模擬コ 問題に取り組む。						

科	目名等	単位数		教科	l書名	副教材等					
Ī	古典B	3	新探求古典B	古文編	[桐原書店]	『古文単語330』『古典文法二訂版』					
			新探求古典B 酒	英文編	[桐原書店]	『漢文必携』『国語便覧』					
【到	]達目標】	古典とし	ての古文・漢文	を読むす	能力を養うとともに、も	のの見方、感じ方、考え方を広くし、					
		古典につ	いての理解や関	心を深る	めることによって人生を	豊かにする態度を育てる。					
		・我が国	の文化の特質や	中国の	文化との関係について理	解を深められたか。					
【学習.	上の留意	点】・積極的	に予習を行い、	主体的	・継続的に学習できたか。						
		<ul><li>自己の</li></ul>	基礎的能力の定	着を図	り、実践的な能力の向上	に努められたか。					
月	テスト	進	度(単元)		É	目己チェック項目					
		「古今著聞集			・説話を読んで登場人物	の行動と心理の推移を理解する。					
4月		-	部卿敦兼と北の力	_	・和歌の修辞に注意し、						
	1 学期	「枕草子一二	月つごもりごろに			管弦の才能の重要性を理解する。 - スポック・カース スポック・カード					
~	中間					で、和歌を介した宮廷でのやりとりを理					
5月		逸話「三横」			解する。     ・話の展開を押据し、						
"			P. 32 ~ P. 59		□各回合格ラインに達し						
		「蜻蛉日記				つ心情やものの考え方を理解する。					
6月			きつつひとり寝る	5夜」	・中記を読んで、作者の心情やものの考え方を理解する。 ・和歌の修辞に注意し、歌の主旨を捉え、和歌にこめられた心						
	4 554 #a	「和泉式部日	記		情を理解する。						
~	1 学期 期末	ー夢より	もはかなき世の中	中を」							
_	初小	思想「荘子一!			・老荘思想について理解	•					
7月		文章「漁父辞」	-			<b>『家と道家の考え方の違いを理解する。</b>					
			P. 62 ~ P. 87		□各回合格ラインに達したか。 <ul><li>・長編物語の話の展開を理解し、登場人物の行動や心情を読み</li></ul>						
9月		源氏物語	葵上と物の怪」		・長編物語の話の展開を理解し、登場人物の行動や心情を読み味わう。						
~		詩「長恨歌」			・古体詩の形式を理解する。						
	中間				・日本の平安朝文学に大	てきな影響を与えた漢詩を読み味わう。					
10月		『漢文必携』』	P. 90 ∼ P. 115		□各回合格ラインに達し	したか。					
		「大鏡-道長	の豪胆」			つ知識を確認し、解釈にいかす。					
11月		「無名草子一	小野小町」			登場人物の行動や心情を読み味わう。 F品に表れたものの見方、感じ方を理解					
					する。						
_	2学期	文章「捕蛇者	説」		・話の展開を踏まえ、筆	<b>筆者の主張を理解する。</b>					
	期末	入試過去問題	演習		・国公立大学二次試験、	私立大学入試などの過去問題や、模擬					
		センター試験	過去問題演習(A	123	問題に取り組む。						
12月		ースのみ)									
		『漢文必携』]	P. 116 ~ P. 150		□各回合格ラインに達したか。						
1月	3 学期	入試過去問題			・国公立大学二次試験、私立大学入試などの過去問題や、模擬						
		センター試験:	過去問題演習( <i>A</i>	A 2 =							
		ハいかり									

# 令和2年度 年間学習計画表 A 1 B 理数

科	科目名等		教科	書名    副教材等						
国	語探究	普通3	センター試験国語過去問題	夏 [尚文出版]	『頻出現代文重要語700』『漢文必携』					
		理数 2	プログレス古典総演習・樹	悪進編「いいずな出版]	『古文単語330』『古典文法二訂版』					
		230								
			精選 現代文B 新訂版	[大修館書店]						
【到法	達目標】	試験時間	間に比して問題本文の分量	が多い共通試験を、効率	よく解くための学力を養う。					
【学習」	上の留意点	・予習	・復習に積極的に取り組み	、主体的・継続的に学習す	ける姿勢が身に付いたか。					
		・自己の	の基礎的能力の定着を図り	、実践的な能力の向上に	努められたか。					
月	テスト	•	進度(単元)	É	自己チェック項目					
		〈現代文〉		・文章構成上の工夫につ	ついて理解を深め、論理の展開をとらえ					
		評論(一)	「こころは見える?」	る。						
		〈古典〉								
4月		プログレス	ス古文編1~9	・問題を解きながら用言						
	1学期			□ 用言を確実に理解し						
~	中間			- 古又を読む上で里要な □ 助動詞を確実に理解	は基本の助動詞を再確認する。					
5月		プログレフ	< 漢文編 1 ~ 6	・漢文の読解に必要な基	•					
57		74767	(長久/柵1~0							
				□ 書き下し文・再読文字について理解したか。 ・基本の句形の知識を確実にする。						
				□ 否定形・疑問形について理解したか。						
		〈現代文〉			ついて理解を深め、論理の展開をとらえ					
6月			「日本文化の三つの時間」	る。						
	1 学期	〈古典〉								
~	期末	プログレス	以古文編10∼16	・問題を解きながら助詞・敬語の再確認をする。						
				□ 助詞・敬語を確実に理解したか。						
7月		プログレス	ヾ漢文編 7 ~14	・句形の知識を確実にする。						
				□ 反語形・使役形・劈	受身形等の句形について理解したか。					
		平成26年本	試験・追試験	[現代文・評論]						
9月		第1問~	~第4問	□本文の話題は何か、ま	また、筆者はどのようなことを主張して					
	2学期	. , , , ,	試験・追試験	いるのかが読み取れたか						
~	中間	第1間~			図を分析・把握できたか。					
	I IHJ		試験・追試験	[現代文・小説]						
10月		第1問~	~第4問	□客観的な読み方ができ	-					
		TF-200 F 1	-34FA \A34FA	□選択肢を誰もがそった。  たか。	思えるだろうかという視点で検討でき					
		半成29年本 第1問~	試験・追試験	だが。   [古文]						
11月	2 学期		~ 舟 4 向 <試験・追試験		<b>去・古語の知識が習得できているか。</b>					
~	4 丁州	第1間~		[漢文]	- HH - WILLIAM H 14 CC C 4 0 0					
	期末		式験・追試験		字・句形の知識が習得できているか。					
12月		第1問~第			Ť					
		令和2年本								
1月	3 学期	第1間~								
		入試過去問								

### 0 地歴科

《日本史B》

### ☆『日本史』を学ぶ意義・目的

「『日本史』は暗記科目」「受験で使うから『日本史』を勉強する」「昔のことを勉強する意味が分からない」等々、『日本史』という科目に関して生徒間で頻繁に交わされる言葉があります。冗談で言っていると思いたいのですが、実際にはかなり本気で言っていると思わざるを得ない状況があり、とても心配している所です。

人間だれでも初めて取り組むことに関しては、かなりの不安や緊張を感じるはずですし、それゆえに失敗してしまうこともあるかもしれません。ただし、2度目以降になれば回を重ねるほど不安や緊張が無くなり、その取り組みはよりスムーズなものとなり、同時に中身も改善されていくものです。言うまでもありませんが、 "経験" がもたらしたものです。と言うことは、取り組みをより良いものにしようとするならば、できるだけ多くの "経験" を積めば良いということになります。ところが、現実には何回 "経験" を積んでも全くうまくいかなかった例が数多くあります。どういうことなのでしょうか? "経験" しないよりは "経験"した方が良いことはもちろんですが、どうやらただ単に "経験"しただけではほとんど効果を上げることはできず、一定の効果を上げるためには忘れてはいけない非常に大事なポイントがあるのではないかという推測を立てることができそうです。すでに答えがわかっている人もいると思いますが、そのポイントこそが "記憶"と "考察"の2つということになります。いくら "経験"を積んでも忘れてしまったのでは次につながらないし、忘れなくても同じことを繰り返すだけで考えなければ改善はされないのです。

ところで、人間はその一生でどれほどの "経験"をすることができるのでしょうか? 1人の人間が "経験"できることおよびその時期はおおよそ決まっており、特に若いうちは何をするにも "経験"が不足しているものです。つまりは、何に取り組んでも初めてのことが多く、うまくいかないことが予想されます。そのような中で可能性に満ちているはずの人生の幅を狭めてしまうことがあるかもしれません。しかし、そのようなことになることを防ぐことは思いのほか難しくはなく、みなさんもすぐに考え付くはずです。そうです、先人に学べば良いのです。先人に学ぶことで疑似とは言え "経験"し、本番に向けて "記憶"と "考察"をしておけば、結果に大きな違いが出ることは歴然です。

どうですか?だんだん『日本史』を学ぶ意義が見えてきたのではないかと思いますが、日本の歴史は我々日本人の祖先たちが歩んできた道であり、様々な "経験" が詰まったものです。参考にならないはずがありません。『日本史』は決して受験で使うために勉強するものではなく、自分の持つ可能性を広げながらできる限り人生を有意義なものにするために勉強するのです。テストが終わったらすぐにでも忘れてしまいそうな暗記ではなく、滅多なことでは忘れないように "記憶" するものなのです。昔のことは未来への鏡であり、『日本史』 = 「未来学」なのです。

そして最後に、現在様々な場面で急速に進展している "グローバル" 化。みなさんも国際人として活躍することが期待されています。そのような時にも日本人として堂々と振る舞い、語るための根底には自国の歴史や文化が必要になってくると思います。また、自国の歴史や文化を大事にしない者が他国の歴史や文化を大事にできるとは思えません。そのようなことからも『日本史』という科目を学ぶことの重要性がいよいよ増しているのではないかと考えています。

#### ☆授業の受け方

『日本史』を学ぶ意義・目的に書いたことを踏まえて、高い意識を持って日々の授業に臨んでほしいと思います。授業ではプリント学習を行う先生、ノートを用意する必要がある先生、タブレットを利用する先生がいますので、担当の先生に確認してください。教科書・図説・史料集は常に用意しておくことが必要です。

### ☆受験勉強の進め方

『日本史』は受験のために学ぶわけではないと言いながらも、受験を全く無視することはできないので一 応触れておこうと思います。

教科書・図説・史料集など "記憶" する必要のあるものが非常に多いことが分かっているので、とにかくできる限り早い時期から取り組み始めることが重要になります。言うまでもありませんが、始める時期が遅れれば遅れた分だけ焦りを生じさせ、勉強に集中できなくなり効率が上がりません。『日本史』は、興味・関心さえ持てばいくらでも自分で学習することができる科目なので、授業で実施されているかどうかということに関係なく取り組むことが可能です。そして単に "記憶" するだけではなく必ずそこに "考察" を加えてください。5W1Hを考えることで記憶が定着していきます。

### ☆参考書・問題集

様々な所で参考書や問題集が推薦されていますが、それほどこだわる必要は無いと思います。他人が使って良かったものが必ずしも自分に合うとは言い切れません。何も考えずに買ってしまう生徒の話をよく耳にしますが、ぜひ買う前に自分の目で確認した方が良いと思います。その結果自分には合わないと感じたならば、周りが良いと言っていても買わない勇気を持ち、自分の判断で自信を持って自分が最も見やすいと感じたものを選んでください。それこそがあなたにとって最良の参考書・問題集となるはずです。

まずは原始・古代から近代までを1冊通して行うことを勧めます。その際に日本史の『用語集』は1冊あった方がいいでしょう。それが終わったら多くの問題集を解き、夏休みくらいからはテーマ別、記述論述、 史料問題集などを勉強してみてください。

科	目名等		単位数	<del></del> 教和	4書名	副教材等				
E	日本史B		5	詳説日本史B	[山川出版社]	新詳日本史 [浜島書店] 日本史重要史料集[浜島書店]				
【至	<b> 達目標】</b>		<ul><li>① 日本の歴史の展開を、アジアのみならず世界史的視野から総合的に考察することによって歴史見方・考え方を身につけさせる。</li><li>② 日本文化の特色や伝統の形成過程についての認識を深めることによって、国際社会を主体的に生きる日本人としての資質を養う。</li><li>③ 政治・経済・社会・地方などを各時代の史料などを活用しながら多角的にとらえ、歴史的思考力な培う。</li></ul>							
【学習.	上の留意	点】	<ul><li>① 各時代の学習については用語も大切であるが、年表や歴史地図などを活用し5W1Hを見つ「流れ」及び用語の関連性を意識する。</li><li>② 中央の政治を軸としながらも、経済、外交、文化等と連関させ多面的に学習することに留</li></ul>							
月	テスト		進			自己チェック項目				
4月 ~ 5月	1学期 中間	6章	幕藩体制	の確立	□原始·古代、中世の復習 □織豊政権 □桃山文化 □幕藩体制の成立 □幕藩社会の構造					
		7章	部 近世幕藩体制		□幕政の安定 □経済の発展 □元禄文化					
6月 ~	1学期期末		幕藩体制		□幕政の改革 □宝暦天明期の文化 □幕府の衰退と近代への □化政文化 □開国と幕末の動乱	道				
7月	793214	_	部 近代・		□明治維新と富国強兵 □立憲国家の成立と日清戦争					
9月	2学期				□日露戦争と国際関係 □近代産業の発展 □近代文化の発達					
10月	中間	10章	二つの世	<b>!</b> 界大戦とアジア	□第一次世界大戦と日本 □ワシントン体制 □市民生活の変化と大衆					
11月	O 335 TE				□恐慌の時代 □軍部の台頭 □第二次世界大戦					
~ 12月	2学期 期末		占領下の 	·	□占領と改革 □冷戦の開始と講和 □55年体制					
					□経済復興から高度経済	成長へ				
1月		日本	史の総合注	<b>東</b> 習	□通史 □テーマ別					

科	目名等	単位数	教和	斗書名 副教材等				
世	:界史B	5	世界史B 新訂版 [2	実教出版]	アカデミア世界史[浜島書店]			
		文明の	成立から、古代世界の	形成過程や中世世界の展	開をたどり、それぞれの社会的・文化			
【到	達目標]	的特色を	考察しながら、人間世	界の営みと、そこから生	じた様々な問題について学んでいきま			
		す。	= • • • • •					
			世界・中世世界の成立	過程について理解できた	<i>ተ</i> ነ			
【学習」	上の留意	百】			~。 関連づけてとらえることができたか。			
月	テスト	<u> </u>	变(単元)					
Л	7 / 1	先史の世界	文( <b>平儿</b> )	□先史の世界	10/エック項目			
4 🖪			4. 古海世里	口元史の世界				
4月 ~		オリエントとt *古代オリコ		ロナ体ナリャンは単甲				
~ 5月	1 学期	* 古代オリンア†		□古代オリエント世界 □ギリシア世界				
эн	中間	*ローマ世!		□マリング世界				
		*ローマ世/ *インドのi						
		*イントの;	1 典 义 切	□インドの古典文明				
			リカの古典文明					
		*東南アジ	アの諸文明	□東南アジアの諸文明				
6月		*中国の古具	典文明	□中国の古典文明				
~	1 学期	*南北アメ		□南北アメリカ文明				
7月	期末		の活動と中国の分裂	□北方民族の活動と中国	国の分裂			
, ,,		東アジア世界の						
		* 東アジア	文化圏の成立	□東アジア文化圏の成立	<u>T.</u>			
			諸地域の自立化	□東アジア諸地域の自立				
			オアシス民の活動	□遊牧民とオアシス民の	)活動			
		*モンゴル	民族の発展	□モンゴル民族の発展				
9月	2 学期		の中国と隣接諸地域	□明・清代の中国と隣接	<b>亲諸地域</b>			
~	中間		界の形成と発展					
10月	1 1-3		ッパ世界の成立	□西ヨーロッパ世界の成				
		*東ヨーロ	ッパ世界の成立	□東ヨーロッパ世界の成	<b></b>			
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1.0.本应			
			ッパ中世世界の変容	□西ヨーロッパ中世世界				
			ッパの中世文化	□西ヨーロッパの中世文	<b>L1</b> L			
			界の形成と発展		-			
11月	2学期		ム帝国の成立	□イスラーム帝国の成立				
~	期末		ム世界の発展	□イスラーム世界の発展				
12月	701714		のイスラーム化 ム文明の発展	□世界各地のイスラーム	12			
		*4 ^ 9	ム人明の発展	□イスラーム文明の発展	HX.			
		世界の全体像権	既観(年間のまとめ)	□世界の全体像概観(年	三間のまとめ)			
1月								
~	学年末							
2月								

令和2年度 年間学習計画表 B 理数

<u> </u>	· 戊 十	间子官	計画表	B 埋数	4							
科	目名等		単位数		教科	書名	副教材等					
E	1本史B		4		詳説日本史B	[山川出版社]	新詳日本史 [浜島書店]					
							日本史重要史料集〔浜島書店〕					
			① 日本(	の歴史の原	展開を、アジアの	のみならず世界史的視野な	から総合的に考察することによって歴史的					
【到	」達目標】		見方	・考え方を	身につけさせん	<b>3</b> 。						
			② 日本:	文化の特色	色や伝統の形成	<b>並過程についての認識を</b> 激	Rめることによって、国際社会を主体的に					
			生き	る日本人と	しての資質を	養う。						
			③ 政治	·経済·社会	会・地方などを彳	各時代の史料などを活用し	しながら多角的にとらえ、歴史的思考力を					
			培う。	<b>o</b>								
			① 各時(	① 各時代の学習については用語も大切であるが、年表や歴史地図などを活用し5W1Hを意識しつ								
【学習.	上の留意	点】	つ「沢	流れ」及びノ	用語の関連性	を意識する。						
			② 中央(	の政治を斬	起しながらも、	経済、外交、文化等と連り	<b>慰させ多面的に学習することに留意する。</b>					
月	テスト			 [度(単元)			自己チェック項目					
						□原始・古代、中世の通	史					
4月		6章	幕藩体制	の確立		□織豊政権						
~						□桃山文化						
5月	1学期					□幕藩体制の成立						
	中間					□幕藩社会の構造						
		第Ⅲ	部 近世			□幕政の安定						
		7章	幕藩体制	の展開		□経済の発展						
						□元禄文化						
	1学期	8章	幕藩体制	の動揺		□幕政の改革						
						口宝暦天明期の文化						
6月						□幕府の衰退と近代への	)道					
~						□化政文化						
7月	期末	第Ⅳ	部 近代・	現代		口開国と幕末の動乱						
		第9章	章 近代国	家の成立		□明治維新と富国強兵						
						□立憲国家の成立と日清	<b>『戦争</b>					
						□日露戦争と国際関係						
						□近代産業の発展						
9月	2学期					口近代文化の発達						
~	中間	10章	二つの世	界大戦と	アジア	□第一次世界大戦と日本	Σ					
10月						ロワシントン体制						
						口市民生活の変化と大衆	<b>教文化</b>					
						□恐慌の時代						
						□軍部の台頭						
110						□第二次世界大戦						
11月	2学期	11章	占領下 <i>σ</i>	)日本		口占領と改革						
12月	期末					□冷戦の開始と講和						
'27		12章	高度成長	 の時代		□55年体制						
	□経済復興から高度経済成長へ											
		日本	 史の総合》	宙習		□通史						
1月		,	~ + - 1110 H /	<u> </u>		□〜  □テーマ別						
''												
	<u> </u>	l										

### 《地理B》3年次

### ☆「地理」を学ぶ意義・目的

広い視野で世界を見渡し、過去・現在起きていること、今後起こりうることを自分の視点で検証・分析 する力をつける

「受験に使うから」… 勿論、学ぶ目的として、確かにそれもあります。しかし、「地理」を学ぶ本当の意義・目的は、広い視野で世界を見渡し、過去・現在起きていること、今後起こりうることを自分の視点で検証・分析する力をつけることです。「地理」は、「日本史」「世界史」「現代社会」「政治経済」など他科目と大きく関わります。そして、他科目の知識を土台にした地理Bの問題が、センター試験や私大入試で数多く出題されているのが事実です。また、そういった横断的な知識を要する問題で失点している受験生が多いのも、また事実です。

#### [例1] ヨーロッパの農業の発達

→ 「地理B」の、ヨーロッパ地誌で扱いますが、皆さんが2年生で習った「世界史A・B」と大いに リンクしています。例えば、「アヘン戦争」の舞台裏、「三角貿易」があります。イギリスからインド へ綿織物が、インドから清へアヘンが…」という三角図を見たことがあるでしょう。イギリスの綿織物 は、ランカシャー地方で産業革命期に発達したものです。ランカシャー地方がどこにあり、どのような 気候なのか。気候と産業は大きく関わります。

### [例2] アメリカの工業の発達

→ 「地理B」の北アメリカ地誌で扱いますが、「現代社会」「政治経済」と大いにリンクしています。 例えば、アメリカのトランプ氏は、「ラストベルト(錆びついた工業地帯)」と呼ばれる地域の白 人労働者からの熱烈な支持を背景に、2016年11月の大統領選に勝利、2017年1月に大統 領に就任しました。この「ラストベルト(錆びついた工業地帯)」がどこにあり、どのような工業 を推し進めたのか、なぜ「錆びついた」のか。こういった現在のニュースに繋がる知識を学びます。

#### ☆授業の受け方

受験に使う・使わないに関係なく、上記の意義・目的を正しく理解して授業を受けてください。「地理」の 授業を通して外国のニュースに興味を持ったり、日本について更に理解を深めたりすることが大切です。

### ☆受験勉強の進め方

「地理B」は3年生から始まる科目で、授業時数も決して十分とは言えません(理数科・普通科4単位)。ですので、教科書を購入したら、一読するだけで結構ですので、可能な限り予習を進めて下さい。基本的な知識が頭に入っている状態で授業を受け、授業後は必ず復習して下さい。統計資料の分析等の細かいところも含めてです。共通テスト・私大の過去問演習は、夏休みからで十分です。あまり古い過去問になると、統計資料が授業内容と違ってくるので、過去5年分を何回も解きましょう。そして、既習範囲で失点した箇所は、教科書や資料集に戻って何度も確認し、ノート整理しましょう。

# 令和2年度 年間学習計画表 A2 B 理数

科	科目名等			教和	斗書名	副教材等				
ţ	地理B		4	新詳地理B	[帝国書院]		世界の諸地域	NOW [帝国書院]		
		1	)地図や	統計資料の分析を、早	く正確に行える力	」を身に	着ける。			
【到	]達目標】	2	り与えら	れた地理的情報をもと	に、正しい地理的	思考を	する力を身に着り	ける。		
		3	諸地域	の課題と特色を理解し	、国際社会に生き	る日本	国民としての資質	質を養う。		
【学翌	上の留意	₽J (j	資料分	析のために必要な、正	しい知識を身に着	計けてい	るか。			
176-	上切田心	<b>2</b>	日々の	ニュースに関心を持ち	、自己の見識をもとに主体的に判断することができたか。					
月	テスト		進度	度(単元)		É	<b>目己チェック項目</b>			
		第I部	様々な	地図と地理的技能	□現代世界の地	図				
4月				最と地図	□地図の種類と		Ħ			
~				舌用と地域調査	□地理情報の地	-				
5月	4 2440			世界の系統地理的考察				人々の生活		
	1 学期   中間	1章	自然環境	竞	□世界の気候	□環境	問題			
	中间	4	V <del>/</del>	La XIII						
		2 草	資源と	<b>主</b> 莱	□産業の発達と					
					□世界の農林水道	<b>生</b> 兼				
					□食料問題					
					□エネルギーと針	拡産資源	泵			
					□世界の工業					
6月	1 学期 期末				□貿易と経済圏					
~		3章	人口、	8市・村落	□世界の人口と	問題	□村落と都市、	居住問題		
7月		4章	生活文化	と、民族・宗教	□生活文化		□民族 • 領土問	題		
					□民族の宗教					
					□現代世界の国	家				
		第Ⅲ部	現代+	世界の地誌的考察						
				界の地域区分						
9月	0 ###				口地計の老を士	/ <del>-</del>				
~	2 学期 中間	△早・	児11、世グ	界の諸地域	<ul><li>□地誌の考察方注</li><li>□東アジア</li></ul>	<b>ガ</b>				
10月	十间				□東南アジア					
					□東南ケンケ					
					□両アジアと中央	中アジア	7			
					□北アフリカと	-				
					□ヨーロッパ					
					□ロシア					
					□アングロアメ	リカ				
11月	~ ** #n				□ラテンアメリン	カ				
~	2学期				□オセアニア					
12月	期末	3 音	現代世界		□九州地方・沖綿		□近畿地方	□関東地方		
		0 +	)u  (   12.9	I C H /T	□中国・四国地		□中部地方	□東北地方・北海道		
						•	= =>4			
		日本地:	理の総合	合演習	□西南日本	□東非	比日本			
1月					□中央日本					

<sup>※1</sup>月について、授業・考査が行われた場合。

科	·目名等		単位数	教科	書名	副教材等					
日本	本史特講		2	詳説日本史B	[山川出版社]	新詳日本史 [浜島書店]					
						日本史重要史料集〔浜島書店〕					
		(	① 日本	の歴史の展開を、アジア	)歴史の展開を、アジアのみならず世界史的視野から総合的に考察することによって歴史的						
【到	達目標】		見方	<ul><li>考え方を身につけさせる</li></ul>	5.						
		(	② 日本:	文化の特色や伝統の形成	<b>求過程についての認識を</b> 源	<b>深めることによって、国際社会を主体的に</b>					
			生きる日本人としての資質を養う。								
		(	③ 政治・経済・社会・地方などを各時代の史料などを活用しながら多角的にとらえ、歴史的思考力を								
			培う。								
		(	① 各時	代の学習については用語	吾も大切であるが、年表や月	歴史地図などを活用し5W1Hを意識しつ					
【学習_	上の留意	点】	つ「流	れ」及び用語の関連性を	を意識する。						
			② 中央	の政治を軸としながらも、	経済、外交、文化等と連携	関させ多面的に学習することに留意する。					
月	テスト			度(単元)		自己チェック項目					
		問題演	寅習 I		第 I 部 原始·古代						
4月					□第1章 日本文						
~	1学期				口第2章 律令国家の形成						
5月	中間				□第3章 貴族政	治と国風文化					
					第Ⅱ部 中世						
					□第4章 中世社:						
_		問題沒	寅習 Ⅱ		□第5章 武家社	会の成長					
6月	1学期				第二部 近世	11.1 - <del></del> - 1					
~	期末				□第6章 幕藩体						
7月					□第7章 幕藩体	制の展開					
9月		問題演	買Ⅲ		□第8章 幕藩体	制の動揺					
эд	2学期				第Ⅳ部 近代・現代						
10月	中間				口第9章 近代国	家の成立					
10/3					□第10章 二つ <i>0</i>	)世界大戦とアジア					
11月		問題演	寅習Ⅳ		□第11章 占領	下の日本					
~	2学期				□第12章 高度原						
12月	期末			□第13章 激動する世界と日本							
		問題演	寅習V		口通史						
1月					□テーマ別						
					なと	き出題					

科目名等			単位数	教科書名							副教	材等	
世界	界史特講		2	世界史B	新訂版 [	実教	出版]		7	アカデミア	世界史	[浜島書店	f]
【到	達目標】			学んだ内容 、実践力を	ぎと、3年次 ☆養う。	に学	色習してい	る内容と	とを紡	合しながら	o、実際	に問題を	解く力を
【学習_	上の留意	点】				消化し、問題解答に応用できているか。 しっかり理解し、問題解答に応用できているか。							
月	テスト		進	度(単元)		自己チェック項目							
4月 ~ 5月	1 学期 中間	近世( 模試)		習(15~18	世紀)		第10章 第11章	近世ョー アジア語 環大西洋	-ロッ 諸地域 洋革6	:界 パと大航海 或と第2次: うとパクス: ッパ・アメ	大交易時 =ブリタ	二力	
6月 ~ 7月	1 学期 期末	近・ 模試		題演習(19	~21世紀)		第14章 第15章	地球をお 二つの世 冷戦から	おおう 世界ナ ら <b>多</b> 様	う帝国主義 大戦 極的国際社会	会へ		
9月 ~ 10月	2 学期 中間	総合 模試	全地	代・中世も地域・全時	含め 代の演習)		通史 テーマ5	Ę.					
11月 ~ 12月	2 学期期末	入試 模試	テーマ 演習)	去の入試問 史・論述問	題を中心に		通史 テーマ5	±					
1月 ~ 2月	学年末	入試	対策最終位	生上げ			通史 テーマ5	ŧ					

### 3 公民科(3年生向け)

### O 『最終完成科目として』

3年生の公民科は、3年間の社会科学(地歴科・公民科)学習の完成科目といえます。現代社会、日本史、世界史、地理でこれまでに学んだ知識がつながっていき、さらに深く理解していける段階に進むからです。旧社会科の科目はどれも関連しています。受験科目に限定して、窓を閉ざしてしまうのはもったいないことです。実際、他の授業で学んだことが受験で思いがけず役に立った、ということは社会科学の科目同士ではよくあることですし、教科を超えた教養や理解に達する喜びを感じさせてくれることすらあります。選択問題に限らず、特に論述の問題に解答するためには、幅広く全体を見渡す視野が欠かせません。広く、そして深く、学んで下さい。大学に入学してからの研究にも必ず役立つはずです。また、受験科目ではなかったので、という言い訳は社会では通用しません。社会に出てからも幅広く深い教養は必要不可欠です。

### 1 『1年次の現代社会との連携』

1年次に全員が「現代社会を」履修しています。その中で、「倫理」および「政治・経済」と重複する分野があります。「倫理」では「青年期の心理」など、「政治・経済」では学習内容の枠組みや内容は現代社会で学習済みとなることだと言えます。そこで3年次の「倫理」・「政治・経済」では、現代社会で扱った分野と重複しないように授業を計画します。「政治・経済」は経済分野中心に進んでいく予定です。年によって、進度の差が出る場合もあるので、その場合は調整して授業を行います。

### 2 『倫理』

高校の学習科目としての倫理は、端的に言えば"思想カタログ"の性格を持ちます。将来、上級学校で専門的に深く学ぶのもいいし、人生の指針や生活上に役立つ知識教養として身につける努力もよいでしょう。そのための基本・ベースになるものを、人類の歴史に沿う流れで学んでいくことになります。範囲としては、宗教や青年期なども含みます。単位数は多くないので、高校倫理の内容のすべてを授業で扱うわけではありません。必要に応じて長期休業中に進学のための補習を行う場合があります。試験のポイントとしては、専門用語が多く登場する科目であり、その理解と整理が肝要なのは、定期考査でも入試などでも変わりません。

用語集→科目内容について、調べ物や浮かんだ疑問を「自分で」、「その場で」解消するのに便利。 実践問題集→難関である必要はない。薄いもので、分野を網羅しているもの。できれば複数冊購入し、 忘れたころに、取り替えながら使う。

### 3 『政治·経済』Q&A

「何を勉強したらいいかわからない!」

- ⇒実際の受験問題を解いてみよう。ゴール(頂上)を見ておけばおのずと対策(ルート)が見えてくる。 日本史や世界史と迷っている人は志望校の入試問題を解いて比べてみてください。登れそうな山はどれか? それから、政経・現社では新聞(ニュース)は必須です。できれば毎日、新聞に目を通してください。 「おすすめの参考書・問題集はありますか?」
- ⇒政経(公民)の参考書・問題集は圧倒的に種類が少ない!なるべく大きな書店に行って、自分に合ったものを選んでください。そして必ず最新のものを使ってください。政治経済は動いています。古い問題集は要注意です。ただし資料集は書店においてないので、希望者は購入できるようにする予定です。疑問が生じたら、いつでも引ける辞書として、手元において勉強してください。私大入試のほとんどは自分で解決できます!「同じ問題集を繰り返しやる必要がありますか?」
- ⇒社会学系の場合は、2~3冊の問題集を解いた方が有効です。違う角度からの出題に慣れることが必要です。 教科書のすべての範囲を終わらせることができなくても、2学期に入ったら問題演習に取り組んで下さい。 模試で出た問題など、勉強したことをすべて1つのノートにまとめておくと、受験のお守りになります!

科	目名等	単位数	教科	書名		副教材等	
政治	冶・経済	2	政治・経済 [東京書籍	普]		なし	
【到	<b> 達目標】</b>	象をメデ ② 単に します。	をメディアに惑わされずに的確に捉え、自分自身で判断できる力を養います。 単に制度だけではなく、その思想の源流にさかのぼって学び、現在の問題点について考察 ます。				
【学習」	上の留意	点】② 日々	② 日々のニュースに関心を持ち、自己の見識をもとに主体的に判断することができたか				
月	テスト	進度(単	元)教科書目次より		主な学習事項		
4月 ~ 5月	1 学期 中間	1資本主	の経済 代の資本主義経済 義体制の確立 義経済の発展と変容	□経済とは □古典派経済学 □ケインズ経済学 □新自由主義	□世界恐慌 [ □修正資本主義	□産業革命 □ニューディール政策 □混合経済 □共産主義 等	
6月 ~ 7月	1 学期 期末	1経済主 2生産の	代経済のしくみ 体と経済の循環 しくみと企業 済の機能と限界	□市場のはたらき □		□企業 □価格機構 等	
9月 ~ 10月	2学期中間	5金融の	得と経済成長 しくみと機能 しくみと機能	□日本銀行  □	□景気変動 ]財政収支・予算 ]金融政策 ]インフレ、デフロ	□管理通貨制度 □信用創造 レ、スタグフレーション 等	
11月 ~ 12月	2 学期 期末	造( 1 経済再) 2 オイル 3 日本経 第4節 福 第 3 と 3 農業・ 4 中小企 5 雇用と 6 社会保	祉社会と日本経済の 題 環境保全 問題 食糧問題 業の現状と課題 労働問題 障と福祉	□農地改革 しょ 則 □ドッジ・ライン □所得倍増計画 □貿易摩擦 □構造改革 □公害問題 □アセスメント □消費者の四つの権利 □農業基本法 □食 □中小企業基本法 □労働三権・三法	□四大公害病 □環境基本法 □ □消費者基z t糧管理制度 □二重構造 □ □四つの社会保障	□経済安定 9 原 □高度成長 □戦後の景気循環 □平成不況 □ P P P  本法 □消費者庁 □コメ輸入 □労働運動 章 □高齢社会 等	
1月		1貿易と 2国際経	民経済と国際経済 国際収支 済体制の展開 上国の経済	□自由貿易と保護貿易 □外国為替 □国際通貨制度	品 □比較生産習 □戦後の国際 等		

<sup>※</sup>現代社会で学習していない分野を中心に行う予定です。

<sup>※1</sup>月については授業・考査が行われた場合。

科	目名等	単位数	教科	—————————————————————————————————————	副教材等		
	倫理	2	高校倫理 [東京書籍]		なし		
<b>【</b> 到	達目標]	と多様性 的確に扱 ② 人物 る能力を ③ メテ					
【学習_	上の留意		② 思想や考え方を日常の感覚に結び付けられ、様々な問題の思考、解決に役立つよう駆使できるか。				
月	テスト	進	度(単元)		自己チェック項目		
4月 ~ 5月	1 学期 中間	第1章 青年 第1節 青 第2節 青	年期の課題 としての自覚 リシア思想	□自然哲学  □	青年期 □欲求とパーソナリティ 人文哲学 □ヘレニズム期の思想 教父哲学 □スコラ哲学		
6月 ~ 7月	1 学期 期末			<ul><li>□イスラーム教</li><li>□天の思想</li><li>□</li></ul>	□原始仏教 □大乗思想 需家 □道家		
9月 ~ 10月	2 学期 中間	第1節 人 第2節 科	に生きる人間の倫理	□モラリスト [	□宗教改革 □啓蒙思想 □科学革命 □合理論 □ドイツ観念論 □社会契約		
11月 ~ 12月	2 学期 期末		会と個人 間への新たな問い 会参加と幸福	□社会主義  □	実証主義 □プラグマティズム 実存主義 □精神分析 現代の社会思想		
1月		第2章 現代 第1~7節	の諸課題と倫理 からの選択	□第6節 文化と宗教	題 □第4節 地域社会の課題 化社会の課題		

<sup>※1</sup>月については授業・考査が行われた場合。

<sup>※</sup>授業の進度(単元)、自己チェック項目については前後する場合がある。

<sup>※</sup>授業で補えない分野は希望に応じ補習を行う。

### 4 数学科

### 0 はじめに

数学では「**明らか」**という表現をよく使います。普通「**明らか」**といったら"疑う余地のない","明白な"という意味であると受けとると思いますが,数学では大抵の場合

### 「証明はできるが、とりわけ難しい着想を必要としないのでいちいち丁寧に述べるまでもない」

という意味で使います。この"明らか"に対応する英語は、clearではなくtrivialです。clearと区別するために、trivialを「自明な」と訳すこともあります。やる気になれば誰でもできる自明な証明を与えることは学問研究の立場からみれば、"くだらない"ことですから、trivialには、このような否定的なニュアンスが含まれます。

20世紀を代表する数学者であるアンドレ・ヴェイユは、セミナーのコメントとして次の3句しか発しなかったといわれます。

### 「それは まちがっている」 「それは 私がもうやった」 「それは trivial である」

「p または q または r である」という文は「pでない かつ qでない ならば r である」という文と同じ意味をもっていますから、ヴェイユの態度は、「まちがっていない しかも 私がまだやっていないことは trivial である」と主張していることになります。数学に携わるものとして私もこうありたいと常々思っています。

とはいえ、受験生であるみなさんはそうも言ってはいられません。間近に控えた入学試験に向けて以下のように勉強に取り組んでみて下さい。

### 1 『基礎学力は定理・公式を覚えることから始める!』

受験勉強のスタートとして、まず基礎となる定理・公式の確認をしましょう。不安な人は教科書や問題集の例題等を、定理・公式を確認しながら解くことによって使いながら覚えて下さい。よく公式は導くものと言われますが、すべての公式を入試会場で導いていては、試験時間はすぐに終わってしまいます。そこで基本的な公式については、

①考えずに書ける ②いつでも導ける ③活用の場面とリンクさせる を目標にしっかり覚えましょう。

### 2 『予習・授業・復習のサイクルを確立する!』

3年の授業では演習によるものが多くなります。その際には、授業範囲の問題は自分の力で解いておく予習が前提となります。さらに、他人に対して自分の考えを論理的に伝えられるまでにまとめ、整理しておくことが必要です。次に、学校の授業で学んだことを確実に身につけるためには、復習が重要です。授業の後で、問題だけ見て解答を再現してみると、あれ!?ということがよくあります。そこで実は完全には理解できていなかったことに気がつきます。復習では、その日の授業の内容も含めて再現し、鉛筆を持って答案を作ることを心掛けましょう。数学は覚えることと考えることの両方が要求される科目です。「わかった!」と思っても、実際に計算してみると行き詰まることも少なくありません。問題を解いたり公式を証明したりするときには、方針が立ったら終わりにするのではなく、ノートにきちんと書いてみましょう。

これらのサイクルを繰り返していくことで、計算力と答案作成能力の向上に繋がります。

### 3 『数学IAと数学ⅡBの比重に注意して基礎学力の充実を目指す!』

4月から6月は受験の基礎学力をつける時期です。教科書や問題集の例題等が完璧に解けるレベルが目標です。さらに、理系の人と国立文系で2次試験に数学がある人(以下、「2次型の人」と表す)は受験問題集の予習・復習に力を入れましょう、その際には参考書の活用が有効です。

そして、数学 I Aと数学 II Bとではやらなければならない分量に大きな差があるので、計画を立てるときには**数学 I** Bの比率を増やしておきましょう。数学 II Bの問題は、計算量が多く数学 I Aの内容を利用して解く場合も多いので、数学 I Aの分野の理解の確認にもなります。

### 4 『夏休みは弱点の克服と得意分野を作る学習にあてる!』

夏休みは、1学期の復習や学校の夏期講習への参加などが考えられますが、この時期を利用して**弱点の克服と得意分野を作ることがポイント**です。4月から6月の勉強の中で基礎学力の充実を目標に学習を進めてきても、弱点苦手分野は残るものです。共通テスト型の人は基礎から標準レベルの問題に取り組んで苦手分野を解消して下さい。2次型の人もこの時期に苦手分野を克服しましょう。さらに、得意分野をいくつか作っておくと、秋以降の学習を順調に進めることが出来ます。

### 5 『9月以降は実戦レベルの問題で知識の整理と演習をする!』

共通テスト型の人で、ある程度基礎学力にめどがついてきた人は、4、5年分のセンター試験の過去問を解いてみましょう。意外に難しく感じる人が多いかもしれません。特に数学ⅡBは論理的なものや解法が面倒なものも出題されています。また、センター試験・共通テスト独特の客観形式に慣れることも大きな課題です。

学力とは別に、センター試験や共通テストの難しさには「時間」というものがあります。文章量や計算量が多いので、かなりのスピードで問題を解いていかないと高得点は望めません。常日頃から、時間を計りながら問題を解き、できるだけ時間のかからない解法を選択するなどの、時間的感覚を身につけて下さい。計算も怠らずやり、計算力をつけるようにして下さい。このようなことを心掛けていけばかなり速く問題が解けるようになります。

**2次型の人**は、志望大学の過去問を解いてみましょう。時間を計りながらチャレンジしてみると、かなりきついという印象をもつかもしれませんが、この時期にあまりできなくても構いません。志望校の傾向を知り、**自分の学力と過去問との差を測るのが目的**だからです。標準・応用問題対策を行うことがこの時期の目標です。また、答案を書く練習も大切にしていきましょう。

直前期は実戦力完成期ですから、試験時間に合わせた実戦的な問題演習を通じて、受験環境に慣れておくことが大切です。生活面では、充分な睡眠(6~7時間ぐらい)、早起き習慣、夜型の学習から昼型の学習への変更、インフルエンザ対策などを心掛けて下さい。

### 6 『書籍』など

基礎基本の確認から受験対策まで、教科書やチャート等、学校で購入しているもので十分対応できます。まずはこれらをしっかりとこなしましょう。また、スタディサプリを活用することもお勧めです。より基礎基本を中心に取り組みたいとか、応用問題により多くチャレンジしたいという人は、多くの出版社から様々な参考書や問題集が出ているので、教科担当の先生とも相談して自分に合ったものを探してください。

科目名等		単位数	教	科書名			副教材		
数学	特講(文	系) 2	数学 I 、数学A		攻略!#	攻略!共通テスト			
	A 1		[数	研出版]		共通テス	トプレ	テスト	
[3	到達目標	② 事象 ③ 具体的	<ul><li>① 数学的な基本的概念や原理・法則の理解を深め活用する。</li><li>② 事象を数学的に考察し、スピーディーに処理する能力を高める。</li><li>③ 具体的な問題の解決能力を高め、抽象的に考察する能力を習得する。</li><li>① 主体的・継続的に予習・復習を欠かさずに取り組むことができ、あきらめずに問題に向</li></ul>						
【学習	上の留意	_	き合うことができたか。 多様な単元の内容を組み合わせて、論理的に問題を解決することができたか。				ができたか。		
月	テスト	進度	(単元)		É	自己チェッ	ク項目		
4月~	1 学期 中間	攻略!共通テスト 数学 I 練習問題		□3章	数と式・2次方 図形と計量 データの分析				
5月									
6月	1 学期	文略!共通テスト 数学A 練習問題		□8章	場合の数と確率 図形の性質			整数の性質	
~ 7月	期末	数学 I 実践問題		□3章	数と式・2次方 図形と計量 データの分析			2次関数 集合と論証	
9月	2学期	攻略!共通テスト 数学A 実践問題			場合の数と確率 図形の性質		□7章	整数の性質	
~ 10月	中間	数学 IA 実践問題 プレテスト		□5章	2次関数 データの分析 整数の性質			図形と計量 場合の数と確率	
11月 ~ 12月	2学期期末	攻略!共通テスト         数学 I A 完成問         プレテスト			完成問題				
1月 ~ 2月	3学期	総合演習							

科目名等			単位数	教科書名			副教材			
数学	华探究(文	系)	5	数学Ⅰ、数学△	A、数学	Ⅲ、数学B	攻略	攻略!共通テスト 数学ⅠA+ⅡB、		
	A 2				研出版]			テスト		
<b>.</b>		•	① 数学的な基本的概念や原理・法則の理解を深め活用する。							
L:	到達目標	.]	② 事象を数学的に考察し、スピーディーに処理する能力を高める。 ③ 具体的な問題の解決能力を高め、抽象的に考察する能力を習得する。							
【学習	【学習上の留意点】			① 主体的・継続的に予習・復習を欠かさずに取り組むことができ、あきらめずに問題に向き合うことができたか。						
	<b>— •</b> » щ ле	20111.2		多様な単元の内容を組み合わせて、論理的に問題を解決することがで					とができたか。	
月	テスト	! mb .		(単元)				ェック項		
4 🗖			共通テスト			方程式・式と証				
4月		数子Ⅱ	B 練習問	可越		三角関数 微分と積分		□4早	指数関数・対数関数	
~	1 学期					ベクトル		口0早	女人グリ	
	中間					9 17				
5月	1 1-3									
		攻略!	共通テスト	`	□1章	数と式・2次方	程式	□2章	2次関数	
6月		数学 I	A 練習問	問題	□3章	図形と計量		□4章	集合と論証	
					□5章	データの分析		□6章	場合の数と確率	
~	1学期					整数の性質			図形の性質	
	期末		共通テスト			方程式・式と証			図形と方程式	
7月		数字Ⅱ	B 実践間	<b>司</b> 題		三角関数		□ 4 草	指数関数·対数関数	
					口3早	微分と積分				
		攻略!	共通テスト	`	□6章	数列		□ 7 章	ベクトル	
9月			A II B			数と式・2次方			• •	
					□3章	図形と計量		□4章	集合と論証	
~	2学期	プレテ	スト		□5章	データの分析		□6章	場合の数と確率	
	中間				□7章	整数の性質		□8章	図形の性質	
10月										
		-1 -1 -	# \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				`			
44.5			共通テスト			完成問題(IA				
11月		数字Ⅰ	АІІВ	<b>元</b> 成問題	□8草	完成問題(Ⅱ B	)			
~	2学期	プレテ	スト							
	期末		/\ I							
12月	7,3714									
1月		総合演	習							
~	3学期									
2月										
Ī	1	I			I					

令和2年	度 年間	学習	十画表	В					
科	目名等		単位数		書名		副教	材等	
Ž	数学Ⅲ		7	数学Ⅲ(数	女研出版)	-	基本と演習テー	マ・黄チャート	
						-	大学入学共通テ	ストプレテスト	
		(	① 数学	的な基本的概念や原理	埋・法則の理解を	を深め活用す	<sup>-</sup> る。		
【到	]達目標】	(	② 事象						
		(	3 具体	的な問題の解決能力を	と高め、抽象的に考察する能力を習得する。				
		(	① 新し	い考え方や概念につい	ハて、その内容と	と有効性を理	足解したか。		
【学習	'上の留意	「点意	② 主体的・継続的に予習・復習を欠かさずに取り組むことができ、あきらめずに問題に向き						
			合うことができたか。						
	1	(	3 多様	な単元の内容を組み	合わせて、論理的	的に問題を解	¥決することが、	できたか。	
月	テスト		進度	度(単元)		自己	チェック項目		
		第3章			□分数関数	□無理闘	関数 □道	<b>逆関数と合成関数</b>	
	1 学期 中間	第4章			□数列の極限		□無限等比数歹	IJ	
4月			節数列		□無限級数		□関数の極限		
~			節関数		□三角関数と極		□関数の連続性		
5月			微分法		□微分係数と導	関数	□導関数の計算		
		第 1	節導	<b>த</b> 数					
		第2	節いる	いろな関数の導関数	□いろいろな関	数の導関数			
			微分法		□第n次導関数		□曲線の方程式		
6月	1 学期 期末		節 導関		□接線の方程式		□平均値の定理		
~ _		第2	節 いろ	いろな応用	□関数の値の変化		□関数のグラフ		
7月					□方程式、不等式		□速度と加速度	_,	
			積分法		□不定積分とその		□置換積分法と	部分積分法	
			節不定		口いろいろな関		<i></i>		
			節定積		□定積分とその			, w ) BBBT	
0 8	0 ##B	第3	節 積分	分法の応用	□置換積分法と部		□定積分のいろ		
9月~	2 学期 中間				□面積  □	□体積	□道のり	□曲線の長さ	
~ 10月	十间		II A B≀						
1075		共通デ	・ストプレ	√テストΙΑ・ⅡB					
		数学]	II A B						
		共通ラ	ニストプレ	√テスト I A・II B					
11月	2 学期								
~	期末	*** *** TI	다는지지						
12月		数学Ⅱ	l供省						
		総合問	  題演習・‡	共通テスト演習					

※ 実力テスト:大学入試に向けての模試を実施する。

3学期

学年末

1月

3月

※ 小テスト : 教科書レベルの問題で確認テストを実施する。

令和 2 年度 年間学習計画表 B

科目名等		単位数	教科書名		副教材		
数	学Ⅱ(理系	系)	3	数学I、数学A、	数学Ⅱ、数学B	攻略共通テスト数学ⅠAⅡB[東京書籍]	
				[数研出	出版]		
			① 数学的	的な基本的概念や原	理・法則の理解を	と深め活用する。	
[3	到達目標	]	② 事象を数学的に考察し、スピーディーに処理する能力を高める。				
			③ 具体的	的な問題の解決能力	を高め、抽象的に	こ考察する能力を習得する。	
			① 主体的・継続的に予習・復習を欠かさずに取り組むことができ、あきらめずに問題に				
【学習	【学習上の留意点】			うことができたか。			
			② 多様	な単元の内容を組み	合わせて、論理的	りに問題を解決することができたか。	
月	テスト		進度	(単元)		自己チェック項目	
		数学 I	+A		□無理数の計算	□2次方程式の解	
4月		第1章	数と式・	2次方程式	□絶対値を含む	方程式・不等式 □1次不等式とその応用	
		第2章	2次関数	女	□放物線の決定	と平行移動 □グラフと座標軸との共有点	
~						□2次不等式の解/解の存在範囲/成立条件	
_	1 学期	第3章	図形と計	十量		値 □正弦定理と余弦定理	
5月	中間					三角形/四角形 □三角形の解法	
						積 □四面体の高さ/内接球の半径	
		第4章	集合と諸	<b>論証</b>	□必要条件と十	分条件 □命題の真偽 □集合と条件	
		第5章	データの	分析	□代表値と標準	偏差 □四分位数と箱ひげ図	
					□散布図と相関	関係 □分散と相関係数	
		第6章	場合の数	女と確率		□和事象/独立な試行/反復試行の確率	
6月					□整数の個数	□同じものを含む順列 □条件つき確率	
	1 学期	第7章	整数の性	上質		□最大公約数と最小公倍数 □余りの利用	
~	期末					互除法と1次方程式の整数解 □ n 進法	
_	初不	第8章	図形の性	上質		の重心・内心・外心・垂心 □円の接線	
7月					□角の二等分線	□三角形の五心、辺の比/円の性質、接線	
		第9章	完成問題	<u> </u>			
		数学Ⅱ	+ B		□実数の性質	□複素数 □2次方程式の解と係数の関係	
		第1章	方程式•	式と証明	□整式の剰余	□3次方程式の解とその個数	
		第2章	図形と力		□2直線の平行	・垂直 □円の方程式 □軌跡と領域	
9月					□弦の長さと領	域内の点 □領域と最大・最小	
	2 学期	<b>第3音</b>	三角関数	<del>(,</del>	□三毎盟粉のガ		
~	中間	为日午	一月因亥	X		シングが伝足性グロ版と取べ、取べいむ方程式・不等式 □三角関数の図形への応用	
10月		<b>学 4 辛</b>	+12 米4 目目米	 女・対数関数		□指数関数・対数関数の最大・最小	
1075		<b>弗</b> 4早	拍剱渕多	以• 刈剱) 剝剝		□疳数関数・対数関数の取入・取小 <sup>m</sup> の桁数 □指数方程式の解の存在範囲	
		笠 5 音	微分と積	事分		ラフ/極値/最大・最小/接線の方程式・本数	
		N10 4	100 D C 13	₹ <i>)</i> J		実数解 □定積分を含む関数	
						た図形の面積とその最大・最小	
		第6章	数列			比数列とその和 □分数列、共通項数列	
11月						が与えられた数列 □漸化式と数学的帰納法	
	o ))/ 168				□余りの数列	□群数列	
~	2学期	第7章	ベクトル		□ベクトルの和	・差・実数倍と内積 □交点の位置ベクトル	
期末 期末					□直線のベクト	ル方程式とそれが表す図形とその面積	
12月					□空間座標/図	形 □空間のベクトル/位置ベクトル	
		第8章	完成問題	<u> </u>			
1月	o ₩#□	<b><u></u> </b>					
~2月	3 子期	総合演					

^ <del></del>		
令和2年度	年間学習計画表	В

科目名等		単位数教科書名			副教材				
Ż	数学探究		4	数学 I 、数学 /	A、数学Ⅱ、数学B	リンク数学演習 I ・A+Ⅱ・B			
	(理系)			[数	研出版]	大学入学共通テストプレテスト			
			① 数学的	的な基本的概念や原	理・法則の理解を深め活				
[3	到達目標	]	② 事象を数学的に考察し、スピーディーに処理する能力を高める。						
			③ 具体的	的な問題の解決能力	を高め、抽象的に考察す	る能力を習得する。			
			① 主体的	的・継続的に予習・	復習を欠かさずに取り組	[むことができ、あきらめずに問題に向			
【学習	'上の留意	点点】	き合	うことができたか。					
		_		-	合わせて、論理的に問題	見を解決することができたか。			
	1	T							
月	テスト		進度	(単元)	E	自己チェック項目			
		数学	II approac	h	□微分法と積分法	□ベクトル			
4月		数学	Bapproac	h	□数列				
~	1 学期								
5月	中間	数学	I basic		□数と式	□集合と命題			
	十申				□2次関数	□図形と計量			
					□データの分析				
		数学	Abasic		□場合の数と確率	□図形の性質			
6月		数学	∏basic		□整数の性質	□式と証明			
~	1 学期	数学	Bbasic		□複素数と方程式	□図形と方程式			
7月	期末				□三角関数	□指数関数と対数関数			
	州木				□微分法と積分法	□ベクトル			
					□数列				
		数学	I challen	ge	□数と式	□集合と命題			
9月		数学	Achallen	ge	□2次関数	□図形と計量			
					□データの分析	□場合の数と確率			
~	2学期				□図形の性質	□整数の性質			
	中間								
10月									
		大学	入学共通ラ	テストプレテスト					
			Ι Α • Π Ε	3演習					
		数学	∏ challen	ge	□式と証明	□複素数と方程式			
11月			Bchallen	_	□図形と方程式	□三角関数			
		22.4		S	□指数関数と対数関数				
~					□ベクトル	□数列			
	2 学期					_ <i></i>			
12月	期末								
,,		大学	入学共通ラ	ニストプレテスト					
			I A · II E						
1月									
· ~	3 学期	総合	<b>油型</b>						
2月	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	小心口	四日						
<u> </u>									

科目名等			単位数	教科書名	ጟ		副教材等		
理	数数学 I	I	3	高等学校 数	対学Ⅲ	4プロセス数	学Ⅲ 青チャート数学Ⅲ改訂版		
理数	数数学特	論	4	[数研出席	扳]	短期集中ゼミ	大学共通テストIA・ⅡB		
						大学入学共通	テストプレテストⅠA・ⅡB		
			① 数学	を的な基本的概念	念や原理・法則の理解を深め活用する。				
[3	【到達目標】 ② 事象を数学的に考察				察し、ス	ピーディーに処理	理する能力を高める。		
			③ 具位	は的な問題の解	決能力を高め、抽象的に考察する能力を習得する。				
			① 新し	ノい考え方や概 <i>だ</i>	念につい	て、その内容と	有効性を理解したか。		
【学習	上の留意	「点】	② 主体	体的・継続的に	予習・復	習を欠かさずに	取り組むことができ、あきらめずに問題に向		
			きる	ううことができ	たか。				
③ 多様な単元の内容					を組み合わせて、論理的に問題を解決することができたか。				
月	テスト		進度(	単元)			自己チェック項目		
		「数学	III J						
4月		第6	章 微分	法の応用	□接線の	の方程式	□平均値の定理 □関数の値の変化		
		第	1節 導	関数の応用	□関数の	りグラフ	□方程式・不等式への応用		
~	1 学期	第	2節 い	ろいろな応用			□近似式		
	中間						≦質 □置換積分法と部分積分法		
5月	十申	第	1節 不	定積分	口いろい	いろな関数の不定	至積分		
		数学	ІАПВ	基本演習	□数と記	Ċ	□集合と論証		
					□2次	<b>J</b> 数	□図形と計量		
					ロデータ	タの分析	□場合の数と確率		
					□図形の	の性質	□整数の性質		
6月		「数学Ⅲ」		□定積分	分とその基本性質	□置換積分法と部分積分法			
		第7	章 積分	法とその応用	□定積分	分の部分積分法	□定積分の種々の問題		
~	<b>→ → → +</b> + + □	第	2 節 定	積分	□面積		□体積		
	1 学期	第	3節 積	分法の応用	□道のり		□曲線の長さ		
7月	期末	数学ⅠAⅡB基本演習				代・式と証明	□図形と方程式		
					□三角		□指数関数・対数関数		
					□微分沿	去と積分法	□数列    □ベクトル		
		数学	ΙΑΙΙΒ	問題演習	□数と記	ŧ	□集合と論証		
9月					□2次	<b> 對</b>	□図形と計量		
		共通テス	ストプレラ	テストIAⅡB	ロデータ	タの分析	□場合の数と確率		
~	2学期				□図形の	り性質	□整数の性質		
	中間	数学	Ⅲ総復習	I	□極形式	弋とド・モアブル	√の定理 □複素数平面と図形		
10月					□平面□	上の曲線	□極座標		
					□関数		□数列の極限・無限級数		
						弋と極限	□関数の極限と連続		
					□微分沿	去と導関数	□接線・法線		
		数学	IAIIB	問題演習	口方程式	代・式と証明	□図形と方程式		
11月					□三角		□指数関数・対数関数		
	2学期	共通テス	ストプレラ	テスト I A II B	□微分沿	去と積分法	□数列    □ベクトル		
~	期末	数学	Ⅲ総復習		□関数の	の増減と最大、最	☆小 □微分法の方程式への応用		
10 🗉	****				□微分治	去の不程式への応	第 □積分の計算		
12月					□定積分	分で表された関数	て □定積分と級数・不等式		
					□面積		□体積		
1月	3学期	総合	演習		□大学	人学共通テスト	□私立大学入試		
~2月					□国公立	5大学入試			

※ 実力テスト:大学入試に向けての模試を実施する。

※ 小テスト : 各章ごとに教科書レベルの問題で確認テストを実施する。

### 5 生物

#### ※ 実力テスト

入試で使う人は、積極的に選択や申し込みを行って受けて下さい。受けたら必ず分析をしておきましょう。分からない点があれば、質問に来てください。但し、3年で学ぶため、生物基礎から偏差値を上げていきましょう。

### 1 予習について

予習は基本的に必要ないですが、難しい分野に関しては予習の必要がある生徒もいます。具体的には、 1 学期後半に学ぶ生化学の分野です。もちろん生物よりも重要な教科が多いので控えめに記述しています が、予習をすべての範囲で行えば、成績は当然上がります。

### 2 授業について

- (1) 生物は教える内容が多いです。定期考査を目安にして問題集を必ず解いていってください。生物基礎のイメージのまま学習を続けると必ず壁にぶち当たります。
- (2) 1学期後半から始まる生化学の分野で、北高生は生物が分からなくなる傾向にあります。生化学の分野は予習が必要な人が多いです。また、少しでも分からないところはすぐに質問して解決することを怠ると、生物をマスターするどころか、生物から離れていってしまいます。
- (3) 皆さんの苦手とする生化学の分野はゆっくり進むので、多くの分野は2学期に学ぶことになります。 そのため模試の偏差値がなかなか上がらないですが、先生を信頼して12月に偏差値を限りなく上げ てほしいです。そこで、生物の模試の受験の時期と自己評価の方法についても授業中にアドバイスし ます。自信を失ったら終わりです。
- (4) 1学期後半の生化学が難しくて生物を諦めてしまう。3年で学ぶためになかなか偏差値が上がったように感じられずに諦めてしまう。暗記すべきことが多くて諦めてしまう。そんな根性のない者に生物はマスターできません。
- (5)繰り返しになりますが、授業中に分からない点があったらすぐに質問してほしいです。それができない生徒が多いのもわかっていますが、やらなければならないと思います。これからは AI が活躍する時代であるがゆえに、逆に重要視されるのはヒューマンコミュニケーション能力です。勇気を持って、その能力を授業での積極的発現によって高められれば理想的です。
- (6) 最後に、理科の命は実験であり、実験の結果が教科書に載っています。皆さんが実験を行うときには、完全にこれからやる実験を理解した上で取り組んで下さい。

### 3 復習および受験勉強について

復習は、問題集を繰り返しやることです。授業と同時並行でどんどん問題に取り組んでください。できた問題には〇印をつけて、2回目には飛ばします。3回繰り返せば実力となり、学習効率もどんどん上がります。定期考査のタイミングで問題を解いていきましょう。これを怠ると後で苦しくなるでしょう。授業が分からない状態で問題集に取り組むのは時間の無駄です。そのために必要なことは、再度の繰り返しになりますが、授業中、ちょっとでも分からないところはすぐに先生に質問することです。質問は授業中でも後でも良いのです。質問する勇気、間違いを恐れない心を持たない者に生物をマスターすることはできません。教科書を読み、授業を理解し、問題習を繰り返して解いていく。これがベストの学習方法です。問題集、模試、過去問などをやって、解けなかったところも先生に必ず聞いてください。

### 令和2年度 学習計画表 B

科	-目名等	単位数	教科	副教材等		
	生物	7	改訂生物基礎・改	訂生物 第一学習社	セミナー生物基礎&生物・図説	
		① 生物:	受験に必要な生物の知	識と実力を身につける。		
【到	達目標】	② 生物	の授業を通して、科学	的思考力を向上させる。		
		③ 生物	学の面白さを知ること	によって、自然科学に限	らず広い探究心を養う。	
		① 表を	見れば明らかだが、生	物で学ぶべき事は多く、	生物基礎の残り分野もある。	
【学習	上の留意	[点] ② 2年	で学んだ生物基礎の分	野の簡単な復習をしてか	ら授業に臨む必要がある。	
		③ 必要	な時期に必要な学習ア	ドバイスを行うので実践	すること。	
月	テスト	進月	度(単元)	自己チェック項目		
		【生物基礎】				
4月		第3章 第3節 名	主体防御	自然免疫・獲得免疫・身	Y近な疾患・免疫と医療	
~		【生物】				
5月	1 学期	第6章 生物群组	集と生態系			
	中間	1 個体群		個体群動態・個体群の相	1互作用	
	十申	2 生物群集		環境形成作用と多種の共	存	
		【生物基礎】				
		第4章 植生の	多様性	気候とバイオーム・さま	さまな植生・遷移	
		第5章 生態系	とその保全	生態系におけるエネルキ	一の移動・生物多様性保全の意義	
6月		【生物】				
~		第1章 細胞と気	分子	生物を構成する物質		
7月		1 生体物質と細胞		細胞小器官と生体物質		
	1 学期	2 細胞膜の値	動きとタンパク質	細胞膜の性質と物質の透	過性	
	期末	3 さまざまだ	なタンパク質の働き	輸送タンパク質・受容体	・細胞骨格	
		第2章 代謝				
		1 代謝とエ	ネルギー	酵素とその働き・酵素の		
		2 炭酸同化		光合成のしくみ・窒素同	化のしくみ	
		3 窒素同化 4 異化		呼吸のしくみ		
		第3章 遺伝情報				
9月		1 遺伝情報の		DNAの構造と酵素		
~		2 遺伝子の			電気泳動・PCR法・オペロン	
10月	2 学期	3 バイオテク		基本転写因子		
	中間	第4章 生殖と		NOW A THE STATE OF THE STATE OF	A D. 176 (L. 1) 11 (1) 11 (1) 11 (1)	
			こおける遺伝的多様性		が成・発生の過程と胚葉の分化	
		2 動物の配信		器官形成における反応能	Eと誘導の連鎖 (1975年)	
		3 動物の発生		神経誘導・中胚葉誘導	5	
			生における形態形成	背複軸形成・前後軸誘導		
		5 植物の発生		配偶子形成と胚発生と形		
		第5章 生物の理		植物の環境応答と植物が	<b>がセン</b>	
11月	e ave me	1 植物の環境		刺激の受容		
~	2 学期	2 植物の環境		神経系・効果器と反応	- 41	
12月	期末	3 動物の行動		生得的な行動・習得的行	「虭	
		第7章 生物の記		生命の誕生		
		1 進化のし		原核生物から真核生物へ		
			原と生物の変遷	地球環境の変化と生物界	(40) 変遷	
1月	3学期	第8章 生物の第				
	学年末		質の変遷と系統	生物の分類と系統		
	. 171	2 生物の系統	<b>売関係</b>	ドメイン		

### SS 理数生物(3 年)

### ※ 実力テスト

入試で使う人は、積極的に選択や申し込みを行って受けて下さい。受けたら必ず分析をしておきましょう。分からない点があれば、質問に来てください。但し、3年で学ぶ分野も入っているので、学んだ分野から偏差値を上げていきましょう。

### 学習について

まずは、副教材等を利用して、1、2年生で学んだ単元の復習をしていきましょう。そして、授業進度 と合わせながら、教科書の内容理解を深めていきましょう。授業は、教科書の十分な理解を目標に、進め られます。教科書がしっかり理解できていれば、大学入試にも、対応が可能です。

ただし、ただ内容をまとめるだけの学習をすると、理解が浅くなってしまう危険性があるため、問題集や模試の問題を解いておくことは、重要です。問題を解くことによって、「分かったつもり」になっている箇所の理解を深めることができます。解答を見ても、理解できないところがあれば、先生に聞いて下さい。

### 1 予習について

予習は、基本的に必要ありません。しかし、授業を聞いても、理解しにくいことが多い場合は、予習をした方が良いと思います。

### 2 授業について

- (1) 生物は学習内容が多いです。定期考査を目安にして問題集を必ず解いていってください。生物基礎のイメージのまま学習を続けると必ず壁にぶち当たります。
- (2) 模試の試験範囲を学んでいない場合もあるので、模試の偏差値がなかなか上がりづらいですが、先生を信頼して12月の偏差値を目安に、頑張っていってほしいです。生物の模試の自己評価の方法についても授業中にアドバイスします。自信を失ったら終わりです。
- (3)3年で学ぶためになかなか偏差値が上がったように感じられずに諦めてしまう。暗記すべきことが多くて諦めてしまう。諦めずにがんばりましょう。
- (4)繰り返しになりますが、授業中に分からない点があったらすぐに質問してほしいです。それができない生徒が多いのもわかっていますが、やらなければならないと思います。これからは AI が活躍する時代であるがゆえに、逆に重要視されるのはヒューマンコミュニケーション能力です。勇気を持って、その能力を授業での積極的発現によって高められれば理想的です。
- (6) 最後に、理科では実験が重要であり、実験の結果が教科書に載っています。皆さんが実験を行うときには、完全にこれからやる実験を理解した上で取り組んで下さい。

### 3 復習および受験勉強について

復習は、問題集を繰り返しやることです。授業と同時並行でどんどん問題に取り組んでください。できた問題には〇印をつけて、2回目には飛ばします。3回繰り返せば実力となり、学習効率もどんどん上がります。定期考査のタイミングで問題を解いていきましょう。ちょっとでも分からないところはすぐに先生に質問してください。

# 令和2年度 学習計画表 理数

	科	目名等	単位数	教科書名	副教材等				
		1数生物 3年	5	生物基礎(第一学習社) 高等学校改訂生物(第一学習社)	セミナー 生物基礎+生物 図説				
	月		進度(単元)	自己チェック項目	■				
1 学期中間	4月	第2節		<ul><li>□発酵 □呼吸の過程</li><li>□原核生物における発現調節</li><li>□バイオテクノロジー</li></ul>	□原核生物における発現調節 				
		第1節 第2節	殖と発生 有性生殖における遺伝的多様性 動物の配偶子形成 動物の発生	□無性生殖と有性生殖 □減数分裂 □動物の配偶子形成 □受精卵と卵割 □動物の体の基本構造と体軸	□減数分裂 □動物の配偶子形成 □受精卵と卵割				
1 学期期末	6月	第5節 第5章 生	動物の発生における 形態形成のしくみ 植物の発生 物の環境応答 植物の環境応答	□形態形成と誘導 □形態形成と位置情報 □器官の形成と細胞の死 □被子植物の配偶子形成と受精 □被子植物の胚発生 □被子植物の体制と形態形成 □花の形成と遺伝子による制御 □植物の環境応答 □種子の発芽 □光屈性と重力屈性 □花芽形成 □果実の成長と成熟					
2 学期中間	9月	第6章 生	物の環境応答 物群集と生態系 個体群と生物群集	□ストレスに対する応答 □刺激の受容と反応 □ヒトの様々な受容器 □神経系と興奮の伝達 □中枢神経系 □動物の行動 □個体群 □個体群内の相互作用 □個体群間の相互作用					
2 学期期末	12月	第7章 生 第1節	進化のしくみ 生物の起源と生物の変遷	□生態系の物質生産 □生態系におけるエネルギーの移動 □進化が起こるしくみ □生命の誕生 □地球環境の変化と生物界の変遷 □生物の分類と系統 □細菌ドメイン □古細菌ドメイン □真核生物ドメイン					
	1月		総合演習問題						

### 化学探究(A2 コース)

### 1. 授業の取り組み方

- 授業のたび、副教材の「アクセスノート」や「セミナー」で問題演習を行い、学習内容の理解度を確認しましょう。
- 授業では指定した副教材を使いますが、それとは別の自身の学習スタイルに合った参考書・問題集を用意 しておきましょう。

### 2. 受験に向けて

● 受験勉強を始める際、まずは既習内容の整理をしておきましょう。

「教科書の何ページで何を学んだのか」「教科書の何ページに何の表・図が載っているのか」を整理する ことで、効率の良い学習が期待できます。

● 受験勉強では、積極的に「問題演習」を行いましょう。

受験勉強を始めるとき、化学基礎の教科書の最初にある「純物質と混合物」の内容からノートを綺麗にまとめようとする人をよく見かけます。決して無駄ではありませんが、入試までの期間を考えると、あまり効率が良いとは思えません。入試では「ノートを綺麗にまとめる能力」ではなく、「問題を解く能力」で合否が決まります。問題演習はすんなりと解けないと辛いかもしれませんが、それを繰り返す内に解き方を覚えるでしょう。その解き方のパターンを増やすことが受験勉強と言えます。

なるべく早く、入試の過去問に挑戦してみましょう。

自身の実力と最終目標との差を確認し、その差を埋めるための学習の計画を立てましょう。

科目	名等	単位数	教科書名	副教材等		
化学	化学探究		化学基礎(数研出版)	アクセスノート 化学基礎 改訂版 (実教出版) 2018 セミナー 化学基礎+化学 (第一学習社)		
月	テスト		進度(単元)	自己チェック項目		
4月 ~ 5月	1 学期 中間	化学基础	<b>逆の復習(前半)</b>	□ 物質の構成 □ 物質の構成粒子 □ 粒子の結合		
6月 ~ 7月	1 学期 期末	化学基础	<b>礎の復習(後半)</b>	□ 物質量と化学反応式 □ 酸と塩基の反応 □ 酸化還元反応		
9月 ~ 10月	2 学期 中間	入試対領	策 問題演習			
1 1月 ~ 1 2月	2 学期 期末	入試対領	策 問題演習			
1月 ~ 3月	3 学期 学年末	入試対領	策 問題演習			

### 化学(Bコース)

### 1. 授業の取り組み方

- 授業のたび、副教材の「アクセスノート」や「セミナー」で問題演習を行い、学習内容の理解度を確認しましょう。
- 授業では指定した副教材を使いますが、それとは別の自身の学習スタイルに合った参考書・問題集を用意 しておきましょう。

### 2. 受験に向けて

● 受験勉強を始める際、まずは既習内容の整理をしておきましょう。

「教科書の何ページで何を学んだのか」「教科書の何ページに何の表・図が載っているのか」を整理する ことで、効率の良い学習が期待できます。

● 受験勉強では、積極的に「問題演習」を行いましょう。

受験勉強を始めるとき、化学基礎の教科書の最初にある「純物質と混合物」の内容からノートを綺麗にまとめようとする人をよく見かけます。決して無駄ではありませんが、入試までの期間を考えると、あまり効率が良いとは思えません。入試では「ノートを綺麗にまとめる能力」ではなく、「問題を解く能力」で合否が決まります。問題演習はすんなりと解けないと辛いかもしれませんが、それを繰り返す内に解き方を覚えるでしょう。その解き方のパターンを増やすことが受験勉強と言えます。

● なるべく早く、入試の過去問に挑戦してみましょう。

自身の実力と最終目標との差を確認し、その差を埋めるための学習の計画を立てましょう。

### 令和2年度 年間学習計画表

科目	 名等	単位数	教科書名		 副教	材料	 等	
			/L ⇔ 甘 ス牀 / メヒトス™	アクセスノート 化学 改訂版 (実教出版)				
化	学	3	化学基礎(数研出版)	2018 -	セミナー 化学基礎+	-化学	学(第一学習社)	
		化学(数研出版)		2020 チェック&演習 化学 (数研出版)				
月	テスト		進度(単元)	自己チェック項目				
		第4編	有機化合物(前半)					
		第1章	有機化合物の分類と分析	□ 有機(	ヒ合物の特徴			
4月	1 学期	1. 有标	機化合物の特徴と分類	□ 有機(	ヒ合物の分類			
~	中間	2. 有	機化合物の分析	口 元素タ	分析			
5月	TIPI	第2章	脂肪族炭化水素	ロアルカ	カン		構造異性体	
		1. 飽	和炭化水素	ロアル	ケン			
		2. 不	飽和炭化水素	ロアルギ	キン			
			有機化合物(後半)	1				
		第3章	アルコールと関連化合物	ロアルコ	コール		エステル	
		1. ア	ルコールとエーテル	□ <u>т</u> —	テル		油脂	
		2. ア	ルデヒドとケトン	ロアル	デヒド		セッケン	
		3. カ	ルボン酸	ロ ケト	ン		界面活性剤	
6月	1 学期	4. エ	ステルと油脂	ロカルフ			合成洗剤	
~	期末			□ 鏡像類				
7月	777-14		芳香族化合物		<b>族炭化水素</b>			
			香族炭化水素	ロフェ				
			ェノール類		族カルボン酸			
			香族カルボン酸	□ 芳香店				
			香族アミンとアゾ化合物	ロアゾイ				
			機化合物の分離	│□ 有機(	ヒ合物の分離			
			高分子化合物	T_ + \( \) -	7 11 A 44 A 17 18 7	_		
			高分子化合物の性質		子化合物の分類	Ш	高分子化合物の特徴	
			分子化合物の構造と性質		子化合物の構造	_	L. 0 LEE 0 1/1 EE	
			天然高分子化合物		領・二糖類		タンパク質の性質	
			然有機化合物の種類	ローナン.	プン・グリコーゲン ¬			
9月		3. 多	糖·二糖 糖		コース 載維・半合成繊維		核酸の構造 DNAとRNA	
эл ~	2 学期	3. 多. 4. ア		□ サエッ		ш	DIVA C IVINA	
10月	中間		ヽ <sup>殴</sup> ンパク質	ロッジ				
1 0 7 1		6.核			╯╹ パク質の構造・分類			
			☆ 合成高分子化合物		<u>・・・スペークス</u> 重合の合成繊維	П	 天然ゴム	
			成高分子化合物		重合の合成繊維		合成ゴム	
		2. 合		□ 熱可塑				
		3. 合		□ 熱硬化				
		4. 天	然ゴムと合成ゴム	ロイオン	ン交換樹脂			
_								
11月	2 学期	J = 8 · / /	w					
~	期末	入試対領	策 問題演習					
12月								
1月	3 学期	7 =±1/	** 88 86 14 27 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77					
~	学年末	人試对第	策 問題演習					
3月								
		1		1				

# 令和2年度科目履修案内 3年生 SS理数化学

### 令和2年度 年間学習計画表

<b>令和2年</b>	日名等		単位数	Ì	<b>数科</b>	<b>小小</b>	副教材等
SS	理数化学	:	5	数研 改訂	化学		セミナー化基+化学 チェック&演習
月	テスト		進度(単	元)※()内子	定授業数		自己チェック項目
4月 ~ 5月	1 学期 中間	1 i 第 3	章 化学編 化学	を反応とエジング である と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	・光 [さと平衡	・反応速度式と反応	F用)の法則と平衡定数 F衡定数の関係
6月 ~ 7月	1学期期末	第 5 1 i 2 i 3 i 4	編 有機 衛有機化 章 炭化 章 酸素 章 芳香	学液中の化 幾化合物 公合物 公水を含 会 会 会 を 会 と 会 を 会 と 会 を 会 を 会 を 会 を 会 を	徴と構造 機化合物	数 ・有機化合物とは ・一般式; C <sub>n</sub> H <sub>2n+2</sub> , ・アルコール・エー ・カルボニル基とス	
9月 ~ 10月	2学期中間	1 i 2 i 3 i 4 i 第 4 2 i 3 i	編章章章章 編章章章章章高高天合高 無周金典移	幾物質 明表と元素 元素の単位	合物 合物 合物 と 人間生活 と 化 と 化 と 化 と 化 と と と と と と と と と と と	<ul><li>α-アミノ酸</li><li>タンパク質の特徴</li><li>芳香族ポリアミト</li><li>熱可塑性樹脂と素</li><li>付加重合で得られ</li></ul>	機高分子,天然高分子と合成高分子 数 ド系合成繊維・アクリル繊維 熱硬化性樹脂 れるもの(ビニル化合物,ポリエチ で得られるもの(PET,ナイロン)な 元素, 吉晶,
11月 ~ 12月	2学期期末	入試	対策問題》	寅習			
1月		特編技	受業				

<sup>※ 5</sup> 単位科目であるため進度も早く復習が不可欠となる。基本事項の確認としてセミナーのプロセスや基本例題、基本問題 を活用してほしい

# 令和2年度 学習計画表 B

科	目名等	単位数	教和	丰名		副教材等			
	物理	7	物理 (数研出版)			改訂版 リードα・物理(数研出版)			
						2020 物理重要問題集			
						-物理基礎・物理-(数研出版)			
		① 物理	!の学習を通して自然	の事物	カ・現象に関する	基本的な原理・法則を系統的に理			
【到	]達目標】	解す	<sup>-</sup> る。						
		② 自然	を探究する能力と態	度を身	rに付け、他科目	の学習成果とも関連させて, 自然			
		界の	事物・現象を分析的	,総合	かに考察する能	力を身につける。			
		① 授業	で学習した内容につい	て、教	科書にある問題・	問題集を解くこと			
【学	習の仕方	2 補習	に参加するなどしてレ	ベルの	高い問題にも触れ	た方が良い。			
		③ 夏休	みに集中して解いた方	が良い					
		① 2単	位の物理探究と連動し	て授業	を進める。				
【学習」	上の留意	点】 ② 単な	る公式の丸暗記ではな	く、そ	の式の意味を常に	考えるようにすること。			
		③ 問題	iに取り組むときは、ど	のよう	な物理現象なのか	をイメージしながら考えるようにする			
		こと	0	r					
月	テスト	進	度(単元)		É	<b>目己チェック項目</b>			
		平面運動の逐	速度・加速度	_	プロセスの問題に	·			
4月		落体の運動		$\square$ 2	基本例題は自力で	で解ける			
~	1 学期	剛体にはたら	っく力のつり合い		基本問題は解ける				
5月	中間	運動量と力種			発展例題は解ける				
	1 1-3	運動量保存則							
			・慣性力・単振動		中間テストで6害	1(60点)はとれた			
		万有引力							
			・気体分子の運動		プロセスの問題に	·			
6月		気体の状態変			基本例題は自力で	·			
~   7月	1 学期	音のドップラ			基本問題は解ける				
/ //	期末	元の性質・『 静電気力・電	ンンズ・光の干渉と回折	_	発展例題は解ける 発展問題は解ける				
		即电気力・同コンデンサー			期末テストで6害				
		直流回路			)yı/k/ / · · · C O L	1 (00/m) 18 C 4 0/C			
		磁場			プロセスの問題に	t解ける			
9月		電流のつくる	3 磁場		基本例題は自力で	·			
~		電磁力・ロー			基本問題は解ける				
10月	2学期	電磁誘導の法			発展例題は解ける				
	中間	交流の発生			発展問題は解ける	<i>.</i>			
		自己誘導と村	目互誘導	$\Box$ 7	中間テストで6害	刊(60点)はとれた			
		交流回路・電	<b>這磁波</b>	□®	入試過去問が5害				
				□9	入試過去問が 7害	川は解ける			
		光・電子の料	立子性と波動性		プロセスの問題に	は解ける			
11月		原子の構造と	ニエネルギー準位	$\square$ 2	基本例題は自力で	で解ける			
~	2 学期	原子核・放射	対線とその性質		基本問題は解ける				
12月	期末	核反応と核コ	ニネルギー		発展例題は解ける				
		素粒子			発展問題は解ける				
		センター実戦	<b>找演習</b>		期末テストで6害				
					入試過去問が5害				
					入試過去問が 7 害				
		入試対策問題	<b>夏</b> 演習	_	入試過去問が5害	·			
1月	3 学期				入試過去問が 7害	川は解ける			

### 令和2年度 学習計画表 理数

科	目名等	単位数 教科書名							副教材等
3年	SS物理	里	5	物理基礎(数研出版)	、物理	!(数研出版)	改訂版	リー	ドα・物理(数研出版)
							2020 物理	重要	<b>E問題集</b>
							一物理基	基礎	・物理-(数研出版)
		(	① 基本	的な概念や原理、法則	を理解	し、物理学的に探	求する能力	」と創	<b>態度を育てます。</b>
【到	」達目標】	(	② 物理	的な事象の観察、実験	などを	行い、自然に対す	る関心や探	家心	心を高めます。
		(	③ 2学	期中間までに物理の全	範囲の	授業が終わる予定			
		(	① 授業	で学習した内容につい	て、教	科書にある問題・	問題集を解	같くこ	<u>-</u> と
【学	習の仕方	]	2019	物理重要問題集は各単	元が終	わってから、解き	始める。夏	夏休 み	みに集中して解いた方が
			良い						
		(	① 授業	中での完全理解は必須。	同時	に2年次の復習を	進める。		
【学習	【学習上の留意点 ② 問題で問われていることを					ることが必要。日	項から国語	う力を	と高める努力をしてほし
1			VVo						
月	テスト		進	度(単元)		É	己チェック	ク項	目
		静電	🗓気力と	電場・電位		プロセスの問題に	は解ける	$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
4月	1 学期	コン	/デンサ-	_	$\square$ 2	基本例題は自力で	が解ける	$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
~	中間	直流	<b>忙回路</b>		$\square$ 3	基本問題は解ける		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
5月	TIE				$\square 4$	発展例題は解ける		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
						発展問題は解ける	)	$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
		電流	だと磁場			プロセスの問題に	は解ける	$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
6月	1 学期	気体	本の法則		$\square$ 2	基本例題は自力で	が解ける	$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
~	期末		は分子のi			基本問題は解ける		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
7月	77771	気体	本の状態変	变化		発展例題は解ける		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
						発展問題は解ける		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
_			滋誘導			プロセスの問題に		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
9月	2学期		だと電気技	<b>辰動</b>		基本例題は自力で	•	$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
~	中間		アと光	4.		基本問題は解ける		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
10月		原刊	子と原子権	亥		発展例題は解ける		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
						発展問題は解ける		$\rightarrow$	暗記レベルまで到達
				新実戦演習 ************************************		全章のプロセスを	•		
11月	2学期	-		新問題演習 		全章の基本例題を			
~	期末	私立	立対策問題	<b>選</b> 演習		全章の基本問題を	•		
12月						全章の発展例題を			
						全章の発展問題を	<b>が</b> ける		
		入詞	式対策特別	別問題演習			-		
1月	3 学期								
~	学年末								
3月									

- ・『リードα物理基礎・物理』を十分に習得して、『2019物理重要問題集』に取り組むと良い。
- ・最低限夏休みまでには『リード $\alpha$ 物理基礎・物理』の基本問題までは必ず解けるレベルに達するように。

### 地学・地学探究学習法

#### 1 はじめに

2年生で地学基礎を学習しました。3年での地学探求ではどのような学習になるのでしょうか。1学期から2学期の前半は主に2年次における地学基礎のうち未履修の領域を中心に地学基礎の学習の継続をします。ただし、問題演習の量を少しずつ増やしセンター試験に対応した内容に学習ができるように配慮します。そして、2学期の後半は問題演習を中心にした授業になります。目標はセンター試験で高得点を取れること。皆さん頑張りましょう!

### 2 地学探求の授業について

### (1)授業の展開

- 1 学期~2 学期前半: 2 年時に未履修だった分野に関しては、独自に作成したプリントの基本問題について、教師の説明を聞いたり、考えたり、発表したりしながら進行します。その際、皆さんは授業を聞き流さず、ノート代わりとして配布プリントなどに要点を記入しながら授業を受けます。そうすることで学習内容がより定着しやすくなるし、事後の復習もしやすくなります。
- 2 学期後半~1 月:センター試験の過去問を中心とした問題演習を行います。まずは自力で解答してもらい、その後、解答・解説を行っていきます。その際、関連のある項目について質問をしたり、復習をしたりしますので、授業で終わった範囲については、いつ質問されても答えられるようにしっかり復習をして定着させておいてください。

### (2)授業の受け方の注意点

- ア. 年度初めに紙ファイルホールダーなどを購入し、配布プリントをきちんとファイリングしましょう。
- イ. プリントへの要点記入だけでなく、教師が説明したことをメモする習慣を身につけましょう。
- ウ. 2年生の時の内容も含めて自らの意志で問題演習を行いましょう。問題は最低3回繰り返すこと。わからない所をそのままにせず必ず先生に質問をするようにしましょう。
- エ. 校内の実力テスト以外に模試を受験することで問題に慣れるようにしましょう。

### 3 考査への取り組み

センター試験を意識した出題となります。日頃より多くの問題にあたっておくことをお勧めします。

# 地学探究年間学習計画表

Ħ	斗目名等	単位数	教科	書名	副教材等
地	学探求	2	高等学校 地学基礎(第一	一学習社)	セミナー地学基礎(第一学習社) スクエア最新図説地学(第一学習社)
【到	達目標】	さらに、	これまでの学習をもとに	、応用力を高め、センター	、知識を深めることができる。 一試験に対応できる力を身に着ける。
【学習	上の留意	[点] 、演	習問題を付きのプリント 明中盤以降からは、原則	を使って説明する。	を履修部分に関しては、授業内容をまとめ では、受験に向けて対策を十分行い、センター試験に向けて対策
月	テスト	進	度(単元)	Ē	自己チェック項目
4月 ~ 5月	1 学期 中間	第 2 節 地球球 10. 新生作 11. 新生作 第 4 章 大気と 1 節 地球の 1. 大気の 2. 大気圏 3. 対流圏	t② :海洋 O熱収支 O構成	の変遷を理解し、知識 (2) 大気の組成、大気のE を身に付けたか。 (3) 飽和水蒸気圧と飽和な たか。	新生代第四紀までの,地球環境の変化と生物界 歳を身に付けたか。 王力,大気圏の構造,オゾン層を理解し,知識 水蒸気量,露点温度を理解し,知識を身に付け 地球放射を理解し,知識を身に付けたか。
6月 ~ 7月	1 学期 期末	5. 地球の 策 2 節 大気。 1. 緯度に 2. 大気の 3. 高気圧 4. 海洋の 5. 海洋の	熱平衡 と海洋の運動 よるエネルギー収支 大循環 と低気圧 層構造	<ul> <li>(2) 緯度によるエネルギー</li> <li>(3) 風がおこるしくみ、地水量の違いを理解し、</li> <li>(4) 高気圧と低気圧、温荷</li> <li>(5) 海水の組成、塩分、流</li> <li>(6) 海流、深層水の大循環</li> </ul>	支,温室効果を理解し、知識を身に付けたか。  -収支,地球規模の大気の循環を理解したか。  地球規模の大気の循環、緯度による蒸発量と降 知識を身に付けたか。  帯低気圧、熱帯低気圧を理解したか。  毒水の層構造を理解し、知識を身に付けたか。  最モデルを理解し、知識を身に付けたか。  熱の南北輸送を理解し、知識を身に付けたか。
9月 ~ 10月	2 学期中間	第5章 地球の 第15 地球温 2. 地球温 3. オエリー 4. エリー 第2節 手節 1. 季節 2. 自気象震災 4. 地震災 5. 地震災 6. 火	環境の科学 暖化① 暖化② 層の破壊 ーニョとラニーニャ の自然環境 変化 観 害と防災 害 測と防災	けたか。 (2) オゾンホールや,破壊し,知識を身に付けた (3) エルニーニョ現象やラけたか。 (4) 気団や季節風,四季のたか。 (5) 日本の水資源とその恩 (6) 集中豪雨や台風,土配 (7) 地震動による災害や海解し,知識を身に付け	ラニーニャ現象について理解し、知識を身に付 の天気の移り変わりを理解し、知識を身に付け 思恵について理解し、知識を身に付けたか。 少災害について理解し、知識を身に付けたか。 事波による災害、地震の予測、防災について理
11月 ~ 12月	2 学期 期末	センター試験対	対策の問題演習	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	章〜第3章第2節の中生代までを中心に、 演習を行いつつ、関連する重要事項を復習
1月 ~ 3月	3 学期	センター試験対 家庭研修	対策問題演習	(1)1月は、センター試験 要事項を復習する。 (2)2月以降は家庭研修と	

### 6 体育(第3学年)

### (1) 体育の指導目標

「自主・自律・創造」の校訓のもと、「生きる力」を身につけ、自らの「志」に向かって努力し、生涯に わたって運動に親しみ、健康な生活を送ることができる社会に有用な若者を育成する。そのために、以 下の項目に重点を置き指導する。

- 1. 健康な人生を送るための体力向上
- 2. 自ら進んで継続して身体活動を実践するための知識と技能の習得
- 3. 礼節を重んじ、仲間と協同し責任を持って行動できる精神の育成

### (2) 3学年の学習について

#### 1. 指導目標

- ・ 科学的な理論に基づいた合理的な実践を通して、生涯にわたってスポーツに取り組む知識と 技能を身につける。
- ・ 公正・協力・責任等の態度と主体的に運動する能力と態度を育てる。
- ・ 自己の能力に応じて目標を設定し達成できるようにする。
- ・ 安全に留意し協力して課題達成ができるよう各種目のルールや試合運営も学ぶ。

#### 2. 評価について

授業態度(積極的な活動、体力の向上・技能の習得)、出欠状況、スキルテストの内容、個人・グループノートの内容、ルールやマナーの理解度を基に以下の4つの観点から総合的に評価する。

#### 運動の技能

- 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行っている。
- 各種目の特性にあった運動技能を高めている。
- ・ 自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。

### 関心·意欲·態度

- ・ 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正・協力・責任などの態度が身に 付いている
- ・ 礼節を重んじ、仲間と協力して運動を行ったり、用具の準備や後片付けや施設・設備の整備を積極的に行ったりしている。
- ・ 健康・安全に留意して自ら運動をしようとしている。

### 思考·判断

- ・ 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指している。
- ・ 課題を解決するために、活動の仕方を考え、工夫している。

### 知識・理解

- ・ 運動技能の構造と運動の学び方理解し、知識を身に付けている。
- 各種目のルールや練習法を理解し、知識を身に付けている。
- ・ 体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

### 3. 授業について

- 1) 単位数 普通科2単位·理数科2単位
- 2) 授業の進め方(体育実技)

授業の進め方は概ね以下の通りである。

ランニング→集合→あいさつ・点呼→体操・補強→本時の説明→「活動」→整理体操→あいさつ

- 3) その他
  - ・男女共修、クラス単位ではなく選択した種目毎に授業を展開する。

- ・4月~10月は半袖or長袖Tシャツ、男子短パン、女子ハーフパンツ。
- ・禁止事項:タイツ、ストッキング、アクセサリー類、ジャージ期間のワイシャツ着用
- ・体育用のソックスを用意。
- ・健康上の不安、相談がある場合には教科担当等によく聞く。

### (3) 学習内容

				学年	第2	学年	第3学年	備考
領域	領域の内容・単元	<del>L</del>	男	女	男	女	男女共修	
体育理論			0	0	0	0	•	
体つくり	体力を高める運動	协(持久走)	0	0	0	0	•	
	体をほぐす運動		$\circ$	$\circ$	0	0	•	
陸上競技	長距離走	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	•		
	三種競技(走・路	$\circ$	$\circ$			<b>■</b> ※1		
水泳	各種泳法	0	0	0	$\circ$		<b>※</b> 2	
	遠泳・競泳(複数	汝の泳法)	$\circ$	$\circ$	$\circ$	$\circ$	<b>■</b> ※1	<b>※</b> 3
武道	柔道		$\circ$		$\circ$		<b>■</b> ※1	
器械運動	マット運動			$\circ$	$\circ$			
	跳び箱運動			$\circ$	$\circ$		<b>■</b> ※1	<b>※</b> 4
	鉄棒運動			$\circ$	$\circ$			
球技	ゴール型	バスケットボール		0	0		<b>■</b> ※1	
		ハンドボール	0				<b>■</b> ※1	
		サッカー	0	0			<b>■</b> ※ 1	
	ネット型	バレーボール			0	0	<b>■</b> ※1	
		テニス					<b>■</b> ※1	
		バドミントン					<b>■</b> ※1	
		卓球					<b>■</b> ※1	
	ベースボール型	ソフトボール					<b>■</b> ※1	

- **※**1 選択授業
- ※21年生にクロール・平泳ぎ、2年生に背泳ぎ・バタフライを行う
- ※3 1年生は2種類の泳法・2年生は4種類の泳法で行う
- ※4 3種目の運動の中から1種目または2・3種目を行う

# (4) 年間学習計画

	科目名等				教科書名	, ,	副教材等
体育				2	最新高等保健体育		
[ ]	到達目樹	票】	に取り組む ・ 公正・協力 ・ 自己の能力	知識と ・責任 に応じ し協力	でいた合理的な実践を 技能が身につく。 等の態度と主体的に運 て目標を設定し達成で して課題達成ができる	動する能力と態 きる。	態度が身につく。
学期	月		領域	内容			自己チェック項目
	4月	上旬	体育理論(各ラ	イフステ-	ジにおけるスポーツの楽し	,み方)	
		中旬	陸上競技	持久走	男子 1500m		
		下旬			女子 1000m		
tota	5月	上旬	前期選択種目	陸上競	技・水泳・器械運動・	武道	
第一		中旬			球技の中か	ら1種目選択	
第一学期		下旬					
791	6月	上旬					
		中旬					
		下旬					
	7月	上旬					
	9月	上旬	後期選択種目	陸上競	技・水泳・器械運動・		
		中旬			球技の中か	ら1種目選択	
		下旬					
	10 月	上旬					
第		中旬					
一学期		下旬					
期	11月	上旬		フスタイル	ルに応じたスポーツとのかか	へわり方)	
		中旬	陸上競技	長距離	また 外周走・校外走等		
		下旬			男子 約5KM 	・女子 約4km	
	12月	上旬	後期選択種目				
		中旬					
	1月	上旬	体作り運動	体力を	高める運動		
		中旬		4.エク	\ \ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
第	o □	下旬		14はく	`し運動 	 1	
第三学期	2月	上旬中旬					
期		, ,			家庭研修		
	2 H	下旬 上旬					
	3月	上旬中旬					
		中旬					

### (5) その他

### 6 スポーツⅡ(第3学年 選択授業)

### (1) スポーツⅡとは

「スポーツⅡ」は、それぞれのスポーツの型に応じた攻防で個人やチームの能力に応じた作戦を立て、 集団対集団、個人対個人で勝敗を競い合うといった特性がある。種目についての成り立ちや変遷などの 歴史や現在のルール、技術の構造及び技能の高め方、技術分析、初心者への指導法、審判法、競技会の 開催の仕方やその際の役割分担などについて科学的、社会的、文化的な側面から教養を身に付ける。

また、球技の楽しさや喜びを深く味わうとともに、自己やチームの能力を最大限に発揮し専門的な技術や戦術、作戦を習得し、相手やチームに応じた攻防を展開できるようにすることを目指す。

更に、自己やチームに適した目標や課題を適切に設定して練習に取り組み、その課題を解決できるようにし、卒業後においても、「する、みる、支える」といった視点で自己に適したスポーツとのかかわりを継続できるようにする。そのため、専門的な知識及び目的に応じた技能を獲得し、これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力及び主体的に学習に取り組む態度をバランスよく育成する。

### (2) スポーツⅡの指導目標

球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や 能力を育てる。

### (3) 学習内容

### (1) ゴール型球技

ゴール型球技では、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、を取り上げる。チームや個人の技能に応じて戦術、作戦を重視した攻防を展開できるようにする。その際、手でボールを扱うバスケットボール、ハンドボール、主として足でボールを扱うサッカー、の各種目の特性を踏まえ、ボール操作とボールを持たないときの動きを中心に取り扱う。

#### (2) ネット型球技

ネット型球技では、バレーボール、卓球、テニス、バドミントンを取り上げる。チームやダブルス、個人の技能に応じて戦術、作戦を重視した攻防を展開できるようにする。その際、手でボールを扱い、チームで複数回の接触によって攻撃を組み立てるバレーボール、ラケットでボールを扱い、一回の返球によって攻撃を組み立て打ち合うテニス、卓球、バトミントンの各種目の特性を踏まえ、ボールや用具の操作とボールを持たないときの動きを中心に取り扱う。

#### (3) ベースボール型球

ベースボール型球技では、ソフトボールを取り上げ、個人やチームの技能に応じて戦術、作戦を重視した攻防を展開できるようにする。その際、ボールがやや大きく塁間が短いソフトボールの特性を踏まえ、バット操作やボール操作とボールを持たないときの動きを中心に取り扱う。

### (4) 類型共通

身に付けた技能に応じて攻防が展開できるように系統的、計画的に練習ができるようにする。また、 技能と体力の関連を踏まえ、各種目に高度な技能の習得に効果的な科学的練習法や体力トレーニング も含めて取り扱う。

### (4) 評価

#### 1. 技能については、次の点に配慮して評価する

### (1) ゴール型球技

ボール操作の動き:ドリブルやパス,ボールを保持したランニングなどによってボールを保持した

り相手をかわしたりして攻防を展開する技能。

●ボールを持たないときの動き:パスを受けるために空間に走り込んだり仲間をサポートしたりする動きによって、組織的に攻防を展開する技能。

#### (2) ネット型球技

- ●ボールや用具の操作:サービス、レシーブ、スマッシュ、カットなどの技能を用いて、返球場所を コントロールしたり、緩急や前後の空間への返球、ボールの回転の変化などによって、体勢を整え たり、相手の隙をついたりして攻防を展開する技能。
- ●ボールを持たないときの動きで:空間を埋めたり仲間をサポートしたりする動きによって、仲間と 連携して攻防を展開する技能。

#### (3) ベースボール型球技

- バット操作やボール操作: バッティング, バントなどの技術を用いて, 打ち返す方向をコントロールしてヒットをねらったり, 仲間の進塁をサポートしたりして得点につなげる攻撃と, フライやゴロに対する補球動作と送球動作などの守備の技能。
- ●ボールを持たないときの動き:離塁やタッチアップなどの技術を用いて次の塁をねらう動きによって進塁する攻撃と、打球に応じた守備位置の移動や仲間と連携して中継プレイやバックアップをする守備の技能。

### 2. 態度については、次の点に配慮して評価する

- ●球技の学習に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、競技のルールや審判の判定 を遵守しようとする。
- 試合後にお互いを讃え合うなどのマナーやフェアプレイの考え方を大切にしようとする。
- 互いの技術の上達に向けて助け合い高め合おうとする。
- ●審判や記録などの役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。

#### 3. チームの作戦や戦術の話合いについては、次の点に配慮して評価する

- ●自分の意見や仲間の意見を調整して合意形成に貢献しようとすることができる。
- ◆体調や気候の変化に応じて運動量を調整したり危険を予見して回避行動をとったりするなどによって、健康・安全を確保し事故防止を図ることができる。

### 4. 事故防止については、次の点に配慮して評価する

- ゴール型球技では、攻防入り交じってボールを手や足で奪い合う特性から接触による事故
- ネット型球技では、コート内の味方同士の接触や用具操作にかかわる事故
- ベースボール型及びターゲット型球技では、バットやボールによる事故
- •起きやすいことなどを踏まえて事故事例や防止策,技能に応じた練習の選択,天候の変化や炎天下などの自然環境の中での安全の確保,応急手当の仕方などの態度形成のもととなる知識について理解させ,危険を回避する態度を高めるようにする。

#### 5. 知識では、次の点に配慮して評価する。

●技術,戦術,作戦及びその高め方,合理的な練習法や練習計画の立て方,体力の高め方,課題解決の方法,審判法や競技会の企画・運営の仕方,初歩的な指導法,運動観察や動作分析の仕方などを理解することができる。

### 6. 思考・判断では、次の点に配慮して評価する

●自己の課題を解決するとともに生涯を通して「スポーツ」の振興発展にかかわることができるよう、 これらの知識を活用して、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練 習計画の組み立てなどができる。

# (5) 年間学習計画

	科目名等	首計画	単位数		副教材等
		<del>1</del>			田山秋村 子
スポー	−ツⅡ		2	最新高等保健体育	
[3	到達目標	票】	な実践	専門的な理解と高度な技能の習得を目指しを通して、自己の課題を解決できるように 一ツの振興発展にかかわることができる。	こするとともに、生涯を通し
学期	月		内容		自己チェック項目
	4月	上旬中旬	※ゴール	択種目・後期選択種目の決定型・ネット型・ペポープの中から前期1種目・後期1種目を選択する 選択種目の実施	
		下旬			
第	5月	上旬			
第一学期		中旬			
期	C	下旬			
	6月	上旬 中旬			
		下旬			
	7月	上旬			
	9月	上旬	後期	  選択種目の実施	
	0 / 1	中旬	12,771		
		下旬			
	10 月	上旬			
第		中旬			
第二学期		下旬			
期	11月	上旬			
		中旬			
		下旬			
	12月	上旬			
		中旬			
	1月	上旬			
		中旬			
竺		下旬			
第三学期	2月	上旬			
学期		中旬			
		下旬		家庭研修	
	3月	上旬			
		中旬			

# (6) その他

### 7 芸術

### 音楽科

### 1 目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるととも に、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

### 2 評価の観点

- ○音楽への関心・意欲・態度
- ○音楽表現の創意工夫
- ○音楽表現の技能
- ○鑑賞の能力

### 3 3年次の学習内容

### (1) 【表現】

- ア 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏すること
- イ 様々な表現形態による音楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏すること

### (2)【鑑賞】

- ア 音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわりを理解して鑑賞すること
- イ 現代のわが国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞すること
- ウ 音楽と他の芸術や文化とのかかわりを理解して鑑賞すること
- エ 生活および社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解して鑑賞すること

### (3)【創作】

- ア 様々な音素材の表現効果を生かした構成を工夫して、表現意図をもって音楽をつくること
- イ 様々な様式や演奏形態の特徴を理解し、表現意図をもって個性豊かに音楽を作ること

### 4 学習の仕方

- ○授業には、教科書・My Song・音楽通論・ノート(5線譜)・筆記用具・タブレットを持参してください。
- ○実技を伸ばすためには授業に集中し、学習ポイントを理解し、習得しようとする意欲が大切です。
- ○筆記テストはありません。各学期末に音楽ノートとプリントを提出してもらい評価に加えています。
- ○実技テストは、ソロ・デュオ・アンサンブルと様々な形式で行います。
- ○楽曲について PC 等を活用するなど、普段から音楽に対する興味関心を持つようにしてみましょう。 ≪例≫

好きな音楽やアーティストを他者に紹介できるよう調べてみる

楽器や声など表現可能な方法で自ら課題を設定してみる

グループに合わせたアレンジを自ら考えて発表してみる

他教科の知識も活用し、様々な音楽ジャンルについて調べてみる など

# 令和2年度 年間学習計画表 A

科目	名等	単位		教科書名	副教材等					
	<u> </u>	数 2		Joy of Music	My Song・音楽通論					
		① 個	に応じたる	発展的な表現力をつけます						
【到達	目標】		② 音楽を構成する要素や音楽の仕組みなどの知識を活かして表現します							
121/1				いジャンルの音楽に触れ、音楽文化についての理解を深めます						
		① 定	期考査(	(筆記) は実施しませんが、授業内に実技テストを行います。						
【学習上の	留意点】	② 授	② 授業に積極的に参加し、表現しようという主体的な姿勢が大切です。							
		③ デ	ータやノ	ノート・プリント等の提出物も重視します。						
月	進月	度(単元	<del>-</del> ====================================	自己チェック項目						
	斉唱			□姿勢や声の豊かな響きを意識し	て発声しているか					
				□言語に合わせた発音や発声を意	- , .					
	合唱			□歌詞の意味や発音を意識して表						
4 7 1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			<ul><li>□楽語を意識し創造的な表現をしているか</li><li>□音楽を創造的に聴く姿勢ができているか</li></ul>						
4~7月	鑑賞			□ 音楽を創造的に聴く姿勢かでさ □ 様々な地域の音楽に興味を持つ	=					
	器楽			□ 任意のジャンルでソロやアンサ						
	אריוווי			□任意の楽曲でソロやアンサンブルをすることができる						
	楽典			□音の要素(楽器や声の種類)を理解して表現しているか						
				□音の要素(楽器や声の種類)を	意識して鑑賞しているか					
	斉唱			□姿勢や声の響きを意識して発声しているか						
				□歌詞に合わせた発音や発声を意識しているか						
	合唱			□任意のジャンルでアンサンブル	·					
0 10 0	Arri Alia			□意の楽曲でアンサンブルをする						
9~12月	鑑賞			□音楽を想像的に解釈し、表現に						
	器楽			□様々な時代の音楽に興味を持つ □ソロやアンサンブルを組み、発	= -					
	6年			□   □   □   □   □   □   □   □   □   □						
	楽典			□音楽の要素(様々な音楽形式)						
				□音楽の要素(様々な音楽形式)						
1~3月										
1 0/1										
	1									

### 美術科

### 1 クラフトデザイン

**クラフトデザイン**は、創造的な諸活動を通して、創造の喜びを一層深く味わい、美術を生活に生かすなど、生涯にわたって美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、独創的で個性的な表現と鑑賞の能力を高めることをねらいとしています。生活全般にわたり、形や色彩などを活用し生活の中で生きるデザインを重視します。さらに、自然や環境などを配慮しながら心豊かで夢のある生活を実現するためのデザインの働きを理解し、独創的なデザインの制作や実生活の場面での活用・改善の喜びを味わえるよう表現に取り組みます。

### 2 目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術 文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

### 3 評価の観点

- ○美術への関心・意欲・態度
- ○発想や構想の能力
- ○創造的な技能
- ○鑑賞の能力

### 4 3年次の学習内容

### (1) 【デザイン】

- ア デザイン効果を考えて独創的な主題を生成し、表現の構想を練る。
- イ 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的なデザインを追求する。

### 5 その他

・題材は、立体構成(紙)、籐デザイン工芸を行います。

# 令和 2 年度 年間学習計画表 A

科	目名等		単位数	教科書名	7	副教材等
クラフ	'トデザィ	イン	2			
	達目標】		深めてい ②自然や 解し,独 り組む。	く。 環境などを配慮しなが 創的なデザインの制作	ら心豊かで夢の や実生活の場面	るなどして、デザインに対する見方や考え方を のある生活を実現するためのデザインの働きを理 可での活用・改善の喜びを味わえるよう表現に取 でので、毎時間完結するつもりで受講してくだ
	T		②中間及	び期末テストは実施し	ません。	
月	テスト			度(単元)		自己チェック項目
<b>4月~</b> 5月	1 学期 中間 未実施	ク : 《飯	濫賞学習》	デイン「籠をつくる」 ≫ こ関するテーマ	とができたか。 □制作手順や村 □鑑賞を通して	デザインのよさを感じ取り,つくる力を高めるこ 様々な編み方を理解できたか。 て,時代や民族,国の違いを越えて感動をもたら 広く関心をもち,伝統的なデザインのよさを感じ
<b>6月~</b> 7月	1 <b>学期</b> 期末 未実施	ク: 《新	濫賞学習〉	ザイン「籠をつくる」 ≫ こ関するテーマ	たか。	を鑑賞し、良さを自分の作品へ生かすことができ て鑑賞の課題に取り組めたか。
9月 ~ 10月	2 学期 中間 未実施	ク		ザイン とに紙による立体構成	する諸条件につ	目的や条件,機能や構造,材料,技法等表現に関 ついて総合的に考察できたか。 こ使い、道具の扱いについて理解できたか。
11月 ~ 12月	2 学期 期末 未実施	ク		ザイン とに紙による立体構成	ザインをとら;	の中に心情や場をつくりだすという視点からデ え,表現意図が効果的に伝わるように取り組めた
1月 ~ 3月	3学期 学年末 未実施					

### 8 英語科(3年生向け)

### ◇ 勉強方法について

3 学年では、**入試を意識した演習**が増えていきます。演習にあたっては授業内で問題を解き、その後解説という流れが一般的です。**意識を高く持ち、進んで問題に取り組む姿勢**が求められます。

「1・2 学年で学んだ基礎」が土台としてしっかりとしていなければ、入試問題には歯が立ちません。

1・2年で学んだことをより一層深く理解するように努めることが大切です。**基礎・基本の確認を大切に! 焦らず授業を大切に!** 

演習では、特別な予習というものはなく、英単語 Target 1900 や、英文法語法 Vintage など日々着実な学習を心がけてください。

(注意) 出来るようになりたい ⇒難問が解けなくては ⇒難問集を買う ⇒余計にわからなくなる

また、社会問題などさまざまなことに関心を持ち一般教養を高めるようにしてください。長文読解では、英文で書かれている事柄に関する知識があるかないかで、スタート位置がすでに違うのです。

### ◇ 大学入学共通テスト

共通テスト英語の大きな特徴はリーディングとリスニングの配点が1:1であることです。授業では両方に対応できる力を養うべく精選された教材を使って学習します。日々の授業に集中し、一つの教材を繰り返し学習することで力が伸ばしてゆきましょう。以下に学習の要点を挙げておきます。

<リーディング>

- ①英単語・英熟語のテキストを繰り返し学習し、ボキャブラリーを強化する。
- ②文法の演習問題などによりできるだけ早期に文法知識を確かなものにしておく。
- ③日常生活、社会的な話題、アカデミックな内容などいろいろなタイプの英文に触れるようにする。
- ④文章構成や段落構成を考えながら英文を読むことを意識する。
- ⑤事実と意見を区別する設問や図表から情報を読み取るものなど、特徴的な設問形式に慣れておく。 <リスニング>
- ①毎日コンスタントに英語を聞く習慣をつける。
- ②復習として「読めばすべて理解できる」ようにスクリプトの中の語彙・文法を確認する。
- ②内容を理解したら、ネイティブの発音をまねてくりかえし音読する。
- ③ディクテーションで自分が聞き取れない語が何かを把握し、弱点をなくしてゆく。

#### ◇ 各科目について

### 1. コミュニケーション英語皿 必ず予習!

- ●英文の量も増え、内容も高度になっています。予習を必ずしましょう。
- ●英文を理解できたら、音読しましょう。内容のわかる英文を声に出して読むことは非常に効果的です。
- ●英単語・熟語は「英単語 Target 1900」「英熟語 Target 1000」を使って小テストをやっていきます。 英単語・熟語をさらに覚えていきましょう。
- ●入試対策として長文読解の演習も加わります。トレーニングとは言え、本気で取り組んでください。

#### 2. 英語表現Ⅱ

文系は 3 単位、理系は 2 単位になりますが、使用テキストは同じです。引き続き「総合英語 be」と「英文法・語法 Vintage」も使用し理解の確認・定着を目指します。積み残しのないようにしましょう。リスニングの演習も行います。

#### 3. 英語探究(A1 コースのみ)

●総合問題集や文法・語法・英作文の問題集を使用し、実践的な演習を中心に進めます。入試に向けて 実力を養成していきます。

### 4. 英語特講 (A1 コース選択者のみ)

●長文+文法の演習で総合的に実力をつけていきます。演習中心に進みますので、授業への積極的参加が問われます。

### ◇ 補足

新しいことを覚えることも大切ですが、それ以上に**習ったことを忘れないようにする**ことが重要です。 あそこで出た問題だな、と思えるものをどんどん増やしていきましょう。継続は力なりです。**すぐに復習、何度も復習。**自信につなげていけるようにすることが効果的です。

また、**人に教えることは記憶の定着にはいちばん効果的**です。みんなで頑張りましょう。

# 令和2年度 年間学習計画表 A B 理数

乔	4目名等	単位数	教科書名・副教材等
	ニケーション	4	Pro-vision English Communication IIIおよびWorkbook (桐原書店)
	英語Ⅲ		NEO現代を読む Standard New Edition(いいずな書店)
			英単語ターゲット1900(旺文社)英熟語ターゲット1000(旺文社)
			Reach40大学入学共通テスト英語(リーディング)対策(美誠社)
		. ++=	
			F通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。
【至	到達目標】	2. 英語を	E通じて, 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を身に
		つけるこ	とができる。
			ミュニケーションへの関心・意欲・態度
【学習.	上の留意点】	②外[	国語表現の能力
	_		国語理解の能力
			語や文化についての知識・理解
		<b>±</b> ) <b>–</b> 1	日で久間についての知識・互称
	進度(		自己チェック項目
	Lesson 1 Bu		
1	Life with Pa		・Speaking:「順序・追加の表現」を用いながら、凄いと思う日本人について発表する。
学期中間	Lesson 2 Ho	w Jeans	
中	Lesson 3 The	o Miraelo	<ul><li>・Writing : 「時を表す表現」を用いながら、事物の歴史について纏まった文を書く。</li><li>・of ・題材: 化学 形式: 説明文 語数: 718語</li></ul>
間	Fermentation		・Writing: 「比較の表現」を用いて表の数字を比較する。
	1 CI IIICIItatio	11	・Speaking:発酵食品について調べて発表する。
	Lesson 4 An	sel Adam	
4	The Art of P		
1 学	and Nature		・Speaking: 身の回りの問題に取り組むための効果的な方法を考え、話し合う。
学期期末	Lesson 5 Ru	nning ou	tof ● ・題材:環境 形式:説明文 語数:763語
期	Water		・Writing: 「問題・解決に関する表現を用いながら、パラグラフを書く。
~	Lesson 6 Un		・題材:日本文化・歴史 形式:紀行文 語数:888語
	Tracks in Ja	_	・Speaking: 「提案・助言の表現」を用いながら、外国からの旅行者に観光地を薦める。
	Lesson 7 Wh		・題材:心理学・倫理 形式:説明文 語数:883語
2	Dishonesty S Interesting ?		・Listening to Lecture:人が不正をはたらきやすい状況についての講義を聞く。
字	Lesson 8 The		・Speaking: 「禁止する表現」を用いて、不正をはたらこうとする友人に辞めるように促す。 tor ・題材: ビジネス・ものづくり 形式:説明文 語数:907語
2 学期中間	War	e Calcula	・Speaking: 「比較・対照の表現」を用いながら、二つの商品を比較して発表する。
間	Lesson 9 A F	Portrait o	
	<u>E.T.</u>		- Writing: 「目的・理由の表現」を用い、描いた宇宙人像を見せながら特徴を説明する。
	Lesson 10 $\underline{S}_1$	mart	・題材:科学技術・経済 形式:論説文 語数:859語
	Machines an		・Listening: AIが活躍する未来の社会について話し合う3人の会話を聞く。
_	Future of Jo		・Writing: 「原因・結果の表現」を用いながら、パラグラフを書く。
2 学	Lesson 11 T		・題材:生命・化学 形式:説明文 語数:880語
期	Discovery of		・Listening: 遺伝子組み換え食品について話し合う3人の会話を聞く
2 学期期末	Lesson 12 H		・Debate: 「議論の表現」を参考に、遺伝子組み換え食品の是非を討論する。
木	Language St Thought	<u>rapes</u>	・題材:言語 形式:説明文 語数:1120語 ・Speaking:写真の描写に受動態と能応対のどちらを使って説明するか調査し、発表する。
		The Gard	
	Party	Gara	IN TO TO IN THE STATE OF TH
		 る意欲、	課題等の提出(内容・態度)、 小テスト・定期考査等 総合的に評価する
1			
1			

# 令和2年度 年間学習計画表 A B 理数

<b>削達目標</b> 】	などを多 ①コミ ②外国 ③外国 ④言語	VISION QUEST English Expression II ACE、ワークブック(啓林館) 総合英語be 3rd Edition (いいずな書店) 文法語法Vintage 3rd Edition (いいずな書店) 新演習750英文法・語法問題 (いいずな書店) アップリフト英作文 入試標準 (Z会) Listening Essential 2.5 (啓隆社) 通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 ユニケーションへの関心・意欲・態度語表現の能力 きない 態度 語表現の能力
到達目標】 上の留意点】 進度(単:	英語を などを多 ①コミ ②外国 ③外国 ④言語	新演習 7 5 0 英文法・語法問題(いいずな書店) アップリフト英作文 入試標準(Z会) Listening Essential 2.5 (啓隆社) 通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 コニケーションへの関心・意欲・態度語表現の能力 語理解の能力
上の留意点】 進度(単	などを多 ①コミ ②外国 ③外国 ④言語	Listening Essential 2.5(啓隆社) 通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 ユニケーションへの関心・意欲・態度 語表現の能力
上の留意点】 進度(単	などを多 ①コミ ②外国 ③外国 ④言語	通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 ユニケーションへの関心・意欲・態度 語表現の能力 語理解の能力
上の留意点】 進度(単	などを多 ①コミ ②外国 ③外国 ④言語	様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 ユニケーションへの関心・意欲・態度 語表現の能力 語理解の能力
上の留意点】 進度(単	①コミ ②外国 ③外国 ④言語	ュニケーションへの関心・意欲・態度 語表現の能力 語理解の能力
進度(単元	②外国 ③外国 ④言語	語表現の能力 語理解の能力
進度(単元	②外国 ③外国 ④言語	語表現の能力 語理解の能力
進度(単元	<ul><li>③外国</li><li>④言語</li></ul>	語理解の能力
	④言語	
		や文化についての知識・理解
		6人后2000年
Part 1	元)	自己チェック項目
aru		
Lesson 1		□主語の決定/見えない主語の発見/主語のit
Lesson 2		□主語になる名詞句/形式主語/無生物主語
Lesson 3		□自動詞と他動詞/間違えやすい自動詞と他動詞/群動詞
Lesson 4		□SVO∕SVOO
Part 2 Lesson	. 1	□文と文をつなぐ
Lesson 5		□SVC/SVOC
Lesson 6		□使役動詞/知覚動詞
Lesson 7		□直接話法と間接話法/間接話法で伝達
Lesson 8		□「~する」/「~している」
Part 2 Lesson	2	□パラグラフ①構成/列挙・順序
Lesson 9		□ 「~した」/「~していた」
Lesson 10		□能動態と受動態/日本語との違い
Lesson 11		□「もし(今)~ならば」/「もし(あの時)~だったなら」
Lesson 12		□義務・必要を表す助動詞/推量を表す助動詞
Part 2 Lesson	3	□パラグラフ②例示・追加
Lesson 13		□数量を表す語句/名詞を前から修飾する語句
Lesson 14		□名詞を後ろから修飾する①/②
Lesson 15		□関係代名詞/関係副詞
Lesson 16		□副詞・副詞句/不定詞や分詞を使った副詞句
Part 2 Lesson	4	□パラグラフ③比較・対照
Lesson 17		
Lesson 18		□原級/比較級
Lesson 19		□最上級/最上級を意味する表現
Lesson 20		□no+名詞, no-で始まる代名詞/部分否定/準否定
	5,6	□パラグラフ④原因・理由・結果
		□要点・要約①リーディングの要約
授業に対する	音》 🗈	 果題等の提出(内容・態度)、 小テスト・課題テスト・定期考査等を含めて総合的に
	心心、心	<sup>★      </sup>
「шуる。		
	Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Part 2 Lesson Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Part 2 Lesson Lesson 10 Lesson 12 Part 2 Lesson Lesson 12 Part 2 Lesson Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16 Part 2 Lesson Lesson 17 Lesson 18 Lesson 19 Lesson 19 Lesson 20 Part 2 Lesson	Resson 2 Resson 3 Resson 4 Part 2 Lesson 1 Resson 5 Resson 6 Resson 7 Resson 8 Part 2 Lesson 2 Resson 10 Resson 10 Resson 12 Part 2 Lesson 3 Resson 13 Resson 14 Resson 15 Resson 16 Part 2 Lesson 4 Resson 17 Resson 18 Resson 19 Resson 19 Resson 20 Part 2 Lesson 5,6

### 令和2年度 年間学習計画表 A1

_								
科目名等		単位数						
英語探究		3	CROSSBEAM 4 (エミル出版)					
			CROSSBEAM 5 (エミル出版)					
		入試対応の問題演習を通して、表現力、語彙・文法力・英作力などを伸ばす。						
【到	【到達目標】		文法・語法・構文を理解し、それらを正確に操って様々なテーマについて英語で表現できる。					
【学習上	【学習上の留意点】		演習科目です。自ら進んで問題を解く積極的な態度が必要。					
			文法・語法について受験レベルの知識を身につけられるように、たくさんの					
			問題を解きます。学んだ内容を踏まえて、様々な英作文に取り組みます。					
	進	度(単元)	自己チェック項目					
	文法参考書、問題集、		①意欲的に演習に取り組んでいるか。					
诵	作文用テキ	ストなど	②英単語・語法など既習事項の確認と、より深い定着に努めているか。					
通 年			③さまざまな事柄に対して、自ら考え、自分の意見を持っているか。					
	- 定期考査、授業中の小テストの得点、課題の提出状況や授業中の取り組み方、態度、出席状況も併せて評価します。							

科目名等		単位数	教科書名・副教材等				
英語特講		2	Cutting Edge ブルー 2020 (エミル出版)				
【到達目標】		受験用の問題集を用い、演習を通して、読解を中心に文法・単語と語法の力をバランスよく伸ばし、					
		実践的な英語力の育成を図ります。					
			実際に入試で使用された英文を用い、身近な生活から科学、歴史、政治経済				
			天际に八畝(使用された英文を用い、身近は土冶かり付子、歴史、政治経済   				
【学習上	この留意点】	、文化、社会などに渡る様々な話題に触れ、背景知識を身につけるとともに					
			、それぞれの分野の用語や表現についても覚え、活用できるようにします。				
			また文法問題の演習も行います。				
	進		自己チェック項目				
	中堅私大レベル	ルからはじめ、	、上位私大 ①意欲的に演習に取り組んでいるか。				
١٣	や中堅国公立大レベルそして、難関私		て、難関私 ②日々のニュースや社会問題等に興味関心を持ち、教養を高める努力をしているか。				
通 年	大レベルの英ス	文へと読み進む	める。問題 ③入試問題の形式に慣れること、出題者の意図をくみ取りながら問題にあたっているか。				
	を解くと共に、	日本語要約	や英語要約 ④時間配分を気にして問題に取り組んでいるか。				
	もトライする。	,					
	定期考査、授業中の小テストの得点、課題の提出状況や授業中の取り組み方、態度、出席状況も併せて評価します。						

### 9 家庭科(専門)

### フードデザイン

### ①フードデザイン学習の意義・目的

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得し、食生活を総合的に デザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身につけましょう。

#### ②授業の受け方

欠席せず、忘れ物をせず、私語を控え、提出物の期限は守る。

#### ③学習方法

調理実習は自宅でできるだけ予習復習をしましょう。日ごろから家事を担当し、実践力をつけましょう。 実習前日の準備も大切な勉強です。意欲を持って取り組みましょう。

授業を大切に受け、その時間に学習したことはその時間内に理解しましょう。

科目名等			単位数 教科		斗書名	副教材等			
フードデザイン		ン	2	フードデザ	イン実教	基本マスター フード&クッキング			
【到達目標】			① 栄養、食品、献立の基礎を習得する。						
			② 調理	調理実習を通し基礎技術を身に着ける。					
			③ 安全	③ 安全・衛生に配慮し、協力して食生活を営むことができる。					
【学習上の留意点】			① 欠席・忘れ物をせず、安全・衛生に配慮した学習姿勢で臨みましょう。						
			② 学習	学習内容を実生活で予習復習しましょう。					
			③ 提出	出物、実技テストにしっかり取り組みましょう。					
月	テスト		進	度(単元)	調理実習等(予定)				
4月				E活と健康	□調理環境の整備				
~_	1 学期		52章 栄養素のはたらきと食		□切る				
5月	中間	事計		T 0 # 4	□焼き菓子				
		第4	章 調理	世の基本 ニューニー					
6月	∄				□親子どんぶり等	in the			
~	1 学期				□スパゲティミートン□字はニューの独図し	•			
7月	期末				□実技テストの練習と *調理室や被服室等の				
9月					□和風総菜	/ 正 //H			
~	2学期	第7:	章 食育	Ĩ	□子育て中の調理				
10月	中間				□餃子等				
11月		第5章 料理様式とテーブルコ 口ム			□ムニエル等	]ムニエル等			
~	2 学期	ーデ	ーディネート		□パン等				
12月	期末				□行事食(例:クリスマス)				
					*調理室や被服室等の	)整備			

- ※ 実習費(5千円程度)を徴収します。 (最初の授業で連絡します)
- ※ 定期テストは実施しませんが、授業中に実技テストや小テストをします。(必ず受けること)
- ※ 第3章、第6章は各調理実習の事前事後学習で学習します。

### 10 数理探究(3年生理数科)

### (1) 学習について

2 年次に行った課題研究の内容をさらに煮詰めて、最終的には英文の発表ポスターを作成してもらい、英語にてポスターセッションを行ってもらう予定です。この過程により、授業等によって身についた知識を応用することを学んでいきます。そして、研究結果を発表することにより、プレゼンテーション能力の向上もめざします。

ここ内容からも分かるように、課題研究は、みなさん自身が主体的にやっていくべきものとなります。

### (2) 令和2年度 年間学習計画表

科目名等		単位数	教科書名			副教材等		
数理	埋探究III	1	各教科の教科書		科書			
【到達目標】		② 各自( 点) ① 各自(	② 各自の研究成果の発表を通して、プレゼンテーション能力を身につける。 ① 各自の興味関心に応じて研究テーマを設定する。					
	テスト	_	② 主体的な態度で研究活動に臨む。					
月 4月 ~ 5月	1学期	<b>進度(単元)</b> 研究発表のまとめ論文の作成			自己チェック項目 □ 研究発表の内容を再度確認する k とができたか □ 論文を作成することができたか			
6月 ~ 7月	1学期	英語ポスターの作成 英語ポスター発表会			□ 研究内容を英語のポスターにまとめることができたか。 □ ポスターが他者にも分かりやすくまとめられているか。 □ 研究発表の内容を他者が理解できるよう発表することができたか □ 質問に対して、自分の言葉で説明できたか。			
9月 ~ 10月	2学期	□各自の研究分野の興味を掘り下げる			各自の興味関心持つ分	野の学問的知識のベースが確認できたか		
11月 ~ 12月	2学期	□各自の研究分	野の興味を掘り下げる		各自の興味関心持つ分 な問題を解決すること	野の学問的知識のベースを生かした応用的 ができたか。		
1月 ~ 3月	3学期	□各自の研究分野の興味を掘り下げる			各自の興味関心持つ分野の学問的市知識のベースを生かした応用的な問題を解決することができたか。			